

林下曹洞宗における相伝史料研究序説（十三）

——雙林寺所蔵史料（其五）——

飯塚 大展

はじめに

本稿では、雙林寺所蔵『當寺開山無門関代并良尊和尚注却』（外題による。尾題「月江大禪師之下語^并良尊和尚註脚着語也」）を翻刻する。(1) 本史料については、既に樋渡登氏の論攷がある。(2) 『無門関抄』については、金田弘、安藤嘉則、龍谷孝道各氏の研究成果が報告されている。(3)

雙林寺は、相模国最乗寺（現神奈川県南足柄市）の末寺とされ、「双林寺伝記」によれば、宝徳二年（一四五〇）、白井城主長尾昌賢（景仲・俊叟）が嫡子長尾景信に命じて庄内に建立したとされる。「双林寺聯燈録」によれば、長尾氏に招かれた一州正伊（一四一六〜八七）は師の月江正文（？〜一四六二／六三）を開山に迎え、自らは長祿三年（一四五九）の起火回祿ののちに中興開山となっている。

既で紹介した雙林寺所蔵『無極授月江機縁』（雙林寺切紙0125）は、「無極授月江記文」と同内容のものであるが、その冒頭部分に以下のように見える。

○無極授月江機縁（見返）

月江正文首座欲^ス板東^ニ下向^シト、辞^ス無極和尚^ニ。令^レ入^レ夜^ニ。半^ニ丈室^ニ。戒文・傳書卷ヲ傳^ユ給^フ。重^テ付語^ヲ云、板東^ノ於^テ自門他門尊宿之隣風^ニ、有^ニ坐^ノ百戰場中^ニ、吾^ガ宗旨ヲ荷擔^シ、自佗ノ莫^ク受^ル罵謗^ヲ。一宗旨^ヲ困密^ヲ可^シ為^ル樞要^ニ。一派^ヲ洪分而、清濁合混、淺深^ノ底^ノ測^ル眼^ニ。眨^ラ不^レ容、他^ノ柄杓^ヲ一^等不^レ受。派脉^ヲ到^テ末代^ニ長流^而莫^ク令^レ断絶^セ。

これに続いて、無極慧徹から月江へと相伝された無極派下の公案の体系が示されている。そして、これら本参・切紙と相互補充関係にあるのが、「語録抄」・「本則抄」であり、「語録抄」の典型的抄物に、『人天眼目抄』『碧巖録抄』『無門

関抄』等がある。

さて、本史料の名称について、樋渡氏は「勝国良尊和尚『無門関代語抄』」とされている。本書は『無門関』四十八則の本則に対する月江正文の代語（下語）が成立した後、更に勝国良尊（一五四六—一六四〇）が註脚を加えたものと推定される。本書の跋文に以下のように見える。

元和三丁巳ノ夏於濃之岐山下ニ宿ヲ投陋室ニ筮シ四十八則ノ之因縁ニ了而以ニ始終ノ公案ヲ都作シテ一串ト穿レテ之成レ頌ヲ云ル。過量傑出趙州無、不レ渉有無絶諸縁、一路縦横當着處、扇、鬪、三十有三天。私云、捨別趙州一代ハ、平常、言語、以テ天下人ヲ殺活ノ、圖ヲ離レ格ヲ越ヘタ呈ニ、過量傑出禪。アル時キワ無ト被仰レタガ、無テモ無ク、アル時キワ有トヲセラレタガ、有デモ無キ。時キ、有無ヲハナレ、諸縁ニ渡ラヌ更タ。有無ニ渡ラズ、諸縁ヲハナレタガ、一路當着ノ旨ダ。一路ニサヘ當着シタ郎ニワ、何ントモ云ワデワ。何ト云イ何ト行ジテモ、此無、字、涅槃ニハヅレタ更ハアルマイ。畢竟四十八則供ニ無ノ字涅槃門ダ。久立珍重、万福々々、至祝。

月江大禪師之下語并良尊和尚註脚着語也。（51ウ）

これによれば元和三年（一六一七）に、美濃岐府山下の寺院において、『無門関』四十八則を挙し終わって、四十八則全体を一首の頌を以て総括している。更に「私云」以降において、自ら宗旨を敷衍する上堂語の体裁をとっている。因みに勝国には、『碧巖録抄』『勝国和尚再吟』等の抄物が現存する。その教えは、高国英峻、智堂光紹を経て、江戸時代初頭における永平寺の教学体系に大きな影響を及ぼしている。

本書の注釈の形式は、本則（公案）に対する代語（漢文）が有り、時に「取句」も付加される。「私云」「心得云」として、漢字仮名交り文の注釈（講義）がなされる。「尊上座注破云」として、勝国が本則を拈提し、時に「拶語」「代語」がなされ、自ら敷衍する。「無門頌云」、「無門関」所載の偈頌を引用し、やはり「私云」として注釈を付する。

月江正文の代語には、時に和歌が用いられた。第八則「大通智勝佛」の話頭では、以下のように見える。

大通智勝佛。代、只ダシグレ庭ノ夏草思ウ呈路アルトモ問人モ無シ。（中略）故ヘ二月江和尚ノ御代モ、向上ノ貧処不出ト心得可シ。歌ノ作意モ、門裡ヨリノ門外ヘ向テヨム。庭ノ夏草思ウサマ茂リタイ羊ニ茂郎迄デヨ。ナセーバ、路ガアルトテモ、人ノ行キ来ガアルニコソ。トテモノ更ニ、路筋ノ見エヌ呈ニ、茂レトヨシダ歌。

外に了庵慧明の代語として、和歌が引用されている。

雲門鐘声七條 代、如下声ノ渡リ墻^{シヤウ}ノ行^{シクガ}空^ク、了不拘^レ 磔^{シヤク}絶^{シヤク}羅籠^{ラロウ}。了庵代、松風ノ声ノ内ナルカクレガワ昔シモ今モ住ミヨカリケリ。

又、無極の代語も引用されている。

國師三喚侍者、^{々々}三應意旨如何。代、不孝闍提人、不^ス從^フ父^ノ規繩^ニ。取句、拳踢相應、心眼相照^ス。無極古佛、國師三喚侍者意旨如何。代、三尺^ノ靈光輝^キ夜月^ニ、一丈^ノ秋水逼^メ人^ヲ寒^シ。侍者三應意旨如何。代、滿々引弓射不着、了々揮^ヒ劍截無^レ恨^ニ。(中略) 無極サマノ御代ハ、三尺ノ靈光ト云イ、一丈秋水ト云ワ、劍ノ一^ニ。國師ノ目霞ヲヒツ立テ、ケワシク侍者^ノト喚ビカケテコールハ、三尺ノ靈光^一一丈^ノ秋水ガ遙カノホツタト見羊ズ。國師ノ重代ヲ、侍者末向ニ揮ツタ^一。亦滿々引弓テ放ツタガ、侍者ノ処エワ箭ガ不^レ届、振り上^レゲテド切ツタガ、刀子^ノノ刃バモ在^レン^一。捨別トツトノ丈夫底、ケバゲナル者^ノ、夫ニハ、失モ不^レ届、刀モ在^レン者^ノ。

本書の注釈形式は「本則抄」のそれに近似する。「本則抄」は、原則的には『禪林類聚』所載の公案と偈頌に対する註釈によつて成立する「仮名抄」である。その典拠は、二十卷本『禪林類聚』、四卷本『抜禪林類聚』が中心であるが、時に『禪門拈頌集』等も用いている。そして、その公案の選択と排列次第は、特定の公案集に依拠するものがある。

本則の選択基準が他の公案集に依拠する「本則抄」としては、永平寺所蔵『丹霞百則之鈔』、東京大学文学部国語研究室蔵・架蔵『一超元易述』本則抄^一があり、「丹霞子淳頌古」^一、或いは『虚堂集』に依拠している。

又、佐賀県武雄市円心寺所蔵『四十八則之註』は、『無門関』の公案排列に依拠した「本則抄」である。

一、趙州無私云、當則ハ有無ノ二ツニ用処ハナキゾ。無ト云ハ、無ニアラヌ無タゾ。無イガ無イデモ無イゾ。有ハ、有ニアラヌ有タゾ。有ルガ有ルデモナキゾ。ホトニ、狗一也無ト問ホトニ、無マデヨ。無イガ無イデモ無イゾ。有ハ、有ニアラヌ云ワ、蠢一蠅ニ至マデ、此仏性ハアルニ、狗子ニ斗リナンシテナイゾト問呈ニ、ヤラ六ツケシヤ、為他一^一在、ナイゾトヲセラレタソ。亦僧ガ問タゾ。狗子一也無ト問ホトニ、有マデヨ。有ニアツカラヌ有タゾ。有ト云字ニトリ付テ、既一^一来、已ニ仏性が在バ、ナントシテ皮袋裡ニクルマツテ居タゾト問ホトニ、師云、知一^一犯トワ、趙州ノ無ト云イ、有トシタハ、有無ニアツカラヌコトタソ。アルヲ、有無ニヲトシテ、識知ヲ以テ我が肝要ノ道体ヲバ早ヤ犯シタコトタゾ。

翠岩ノ判モ、説^二有説^レモ無ト、有無ニ用処ハナイゾ。ホトニ、只^二兩賽^一一賽タゾ。此有無ニヲチン処ヲ如今一^一生テライタゾ。

五祖演云、大衆一^一生會ト云イカケテ、老僧トハ我ガコトタゾ。ホトニ、我レハ此無ノ字ニ當著シテヨリ、休処ニ^二□□□□^一タゾ。你

諸人モ个ノ个ノ無ノ字ヲサエ透得シタラウニハ、天下人ガ手アマシニセウズソ。ホトニ、你諸人ノ透ラント云イカケタゾ。還透得ノ底アラバ、我が前ニ出来テ道エタゾ、ト云テ、嫌路ヲ立タゾ。我也不要ノ會ヲナシテハ、趙州ノ本位ニハツキエマイゾ。也你ノ無、有無ニヲチン処ヲモ、全提トサセヌゾ。ト云テ、畢竟有無會不會ヲクツト離ヨダゾ。珍重ガ本無契當タゾ。真淨文頌、言有ノ在トハ、有無業識ニ取逢ツレハ、誰云、ノ、深、信アサイ心タゾ。サテ、趙州ノ無ト云イ、有トセラレタ処ハ、海ノ心トハ、□海ノ桑原トナル共、キハメ難イ処タゾ。ナセノバ、無ト云ハ、主后ノ一句タゾ。

圓通秀云、趙州ノ無ト云イ有トセラレタ処ハ、少年ノ学解デモ老倒ノクワフンデモ更ニ知ラレヌゾ。有無ニヲチヌ処ガ、趙州古佛ノ真金タゾ。爰ワ、誰弁色三世歴代共ニ弁ジ難イゾ。況ヤ或ノ踏トハ、有無ノ會ヲマスツレハ、趙州城ニ至リエデ、途中ニタ、ユウツレタゾ。引句、内無玲瓏ノ文章。

普融平云、有ノ收トハ、有ト云イ、無ト云ガ、把住放行タゾ。無ガ趙州ノ関タゾ。此裡ハ、徳山・臨濟ノ、丁ト打、ハタト喝シテ、関門デモナク、亦草戸柴門デモナイゾ。ホトニコソ、世ニ無儔ト云テ、ナント趙州ノ本位ニ叶ヌゾ。試ノ流トワ、海門高処ニ上テ、キツト見ルニ、水トシテ東朝セザルコトナイゾ。其儂一クニ高上ニノボツテ見タゾ。

疎山如云、狗子ノ深トハ、無ト云イ、有ト云ガ、慈悲海ノ深イコトタゾ。爰ヲ、尋ノ心、有無ノ二ヲバ合ツレハ、丈夫ノ心デハナ井ゾ。

慈受深云、有ト云タモ、無ト云タモ、卒共ニジマヌゾ。白色タゾ。処ヲ、有無ニトリ付テ、文字ヲ以テハカルツレハ、皆ナ趙州面前デハ、滅シテノイタゾ。無ト云処デ、其ニジミメヲ、クツトラシノコツタゾ句下ノ長、有ト云イ、無ト吐タ処ニ、長短ハナ井ゾ。アルヲ、有無ニトリ付クツレハ、ミナ逐塊タゾ。ソノツレハ、趙州ノ夜深ク虚堂ニハ至リ得ヌゾ。

徑山泉云、有問ノ無トセラレタゾ。爰ヲ、有無ニ取付キ、會ヲナスツレハ、胡種類族滅之宗旨ハ、断絶タゾ。如レ此モノヲ、ナニガ丈夫トハ名付ウズソ。雌校ワ、古人寫書用黄紙、有誤以雌横滅之也。業識性ガヤカテ無仏性タゾ、ト云心モアリ。駒澤大学図書館『碧巖集再吟』もまた、『碧巖録』の公案排列に依拠した「本則抄」であり、本則の項目、本則の注釈(本則の本文省略)、頌、「説破曰」、「道具曰」という、所謂「再吟」の注釈形式をとる。

引用される本参目録に『如元格外集』がある。この書は、『南谷老師三十四関』『三十四話本参』等の書名を有する三十四則の公案拈提集である。本書は、道元が中国留学中に天童山の如浄より伝授され、建長五年(一二五三)正月十五日に懷辨に伝えられたという識語を有するものである。丹波龍澤寺には、永平寺二十二世秀察(一五六三〜一六四一)

書写の『三十四話之本参』が所蔵されており、雙林寺所蔵本参史料にも収載されている。

【註】

(1) 別本に埼玉県西光寺本が現存する。

(2) 樋渡登「勝国良尊和尚『無門関代語抄』とその言語」(『国語研究』第六五号、二〇〇二年三月、『洞門抄物による近世語の研究』所収。二〇〇七年十月、おうふう刊)

(3) 金田弘「洞門抄物と国語研究」(『II書誌とその用語、第三章天真自性派と『無門関抄』』(研究篇、桜楓社一九七六刊) 安藤嘉則「川僧慧済の『無門関抄』について」(『宗学研究』第四一号、一九九九年三月)

同 右「川僧慧済の語録と『無門関抄』」(『松ヶ岡文庫研究年報』第一三三号、一九九九年)

龍谷孝道「天英祥貞講述『無門関抄』の研究」(『室町期曹洞禅僧による看話禅受容の実態』(『駒沢女子大学研究紀要』第三三号、二〇〇六年一二月)

同 右「中世曹洞宗と『無門関』…京都大学谷村文庫所蔵『無門関抄』を中心として」(『印度學佛敎學研究』第六五二号、二〇一七年三月)

【翻刻凡例】

一、本史料翻刻に際しては、底本に、雙林寺所蔵『當寺開山無門関代并良尊和尚注却』(外題、尾題「月江大禪師之下語并良尊和尚註脚着語也。」)を用い、冒頭より二十九丁裏までを翻刻する。

一、底本の翻刻の体裁は、史料の原形をできうる限り反映させることを原則としたが、掲載の都合で本文と振り仮名・傍注等の関係(前後左右)を変えた場合がある。文字の大きさも同様に、必ずしも統一できていない箇所がある。本文「本則」「尊上座注破云」「無門頌云」は、文字の大きさを変え太字にて強調した

一、翻刻に当たっては、異体字・略体字・別体字・俗字等は、原則としてその書体に近い形で翻字を行った。ただし一部現行の書体にて翻字した場合がある。省文等も同様である。また、明らかに誤写と思われる部分については、また脱

字が明かな場合には、必要に応じて他のテキストを参考にし、傍注を付した。

- 一、踊り字について、片仮名は「、」、「ゞ」、「漢字は「々」、「々々」を用い、二字以上の「く」、「く」、「く」も用いる。
- 一、合字の「ㄣ」「ㄆ」「ㄇ」「ㄏ」「ㄏ」は、そのまま翻字する。
- 一、濁音・促音等の表記は、原文のままに翻刻し、敢えて統一ははからない。
- 一、句読点に関しては、読解を便ならしむるために適宜これを補う。
- 一、改行は、「」を用いた。

【雙林寺所藏「當寺開山無門関代并良尊和尚注却」】

(表紙貼題箋)「當寺開山無門関御代并良尊和尚注却」

「月寥置之」(見返)

趙州無。代、全無^レ的位^一欠^シ承當^ヲ。取句ニ、滿々引^レ弓^ヲ射不着^ク、丁々揮^テ劍^ヲ截^ル無^シ痕^ト。私云、此ノ話ワ、久々ニ純熟セバ、自然ニ内外打成一片ナラント、無門モ批判^一ナサレタ。十年廿年モ、不^レ措昼夜提撕ノ郎ニワ、自然ニホゾ又ケノスル時節ガ在郎ズ呈^ニ、古人^一投機ノ頌杯ニモ、不^レ覺無^ノ字徒^ニ口吻^ニ出ツト在ル。只夕虚空ノ吐イタ如ク、灯笼露柱^ノ笑タ如クヨ。」代、大惠杯モ八種ノ嫌イ路チヲ以テ、尽ク削リ落^メ於イテ御^一。終イニ的意ガ無ク、承當ガ無イ。的位承當ノ無イガ、趙州道艸ニ測底デア郎カ。取、滿々弓^ヲ引イテ放ツタガ、箭^モ立^一タズ、揮リアゲテ、ヒシトキツタガ、痕モツカヌト云ワ、サテ、ドコノ^一デアラウナ。此本無虚艸ノ^一デ走ヨ。」尊上座注破云、全無^レ的位^一処ワ、トコゾ。以^レ手^ヲ指^テ虚空^ニ云、爰ソウヨ。云、猶ヲ毛當^レ底ハ、ナン^一ト良久ス。爰ヲ通身^ニ無^レ内外^一、全体^ニ無^レ皮骨^一ト云タ。通身全体ト云モ、此ノ虚位虚体ノ^一ヨ^一ト心得サシマイ。無門頌、狗子佛性、全提正令、纒涉^ニ有無^一、喪身失命。私云、狗子佛性ガ、趙州ノ佛性^ニ。人天・畜生共ニ佛性ト云ハ、一ツ無キ^ニ。此ノ佛性ト云ハ、有^レデモ無ク、無^レデモ無キ^ニ。有^ニモ^一無^ニモカタムカ又時キガ、全提正令^ニ。サテ、纒カモ有無^ニカタムイタ郎ニワ、正令當行ニハ背イタ^一ダ。」法度ニ違背スルワ、トカ人ナ呈^ニ、耳ヲソギ、鼻ヲソガレテ、喪身失命ノ^一ヨ。」

百丈野狐。

代、独^ク宿^ク雙峯^ノ寺^ヲ、同^ク燒^ク一炷^ノ香^ヲ。

心得ワ、マツ野狐ト云ワ、本性ノ見エズ、何^レトモ、奥ク端シ

ノ知ラレヌヲ云タ。五百性ガ問ダ、野狐身ニ墮フト云モ、五百生ノ後チ野狐身ヲ脱フト」云モ、何者デカ在ツ郎。更ラニ分割シ難イコトヲ走。代、因ト果ト峰頂ガニツ聳エ、墮ト脱ト棟(一才)門ガニツ又シタ。在ルガ、住持ワ如何様独リト見エタ。向ウミレバ、爰デ焼イタモ彼シコデヒ子ツタモ、一炷ノ香、一ツ烟リノ色タ。畢竟墮脱一枚ノ皮骨肉、一炷ノ香ト見立テタ。○尊上座註破云、双峯ノ寺ヲニ独宿ク底ノ人ワ、サテ、誰レテバシア郎ナ、良尊ヨツ、此人ゾウヨ。喚レ之ヲ有レ声へ、見レ渠ヲ無レ」形ト云モ、此ノ主人公殿ノコトヨ。ア、イカイバケ者チヤ。無門頌云、不落不昧、兩彩一塞、不昧不落、千錯万錯。云、彩ワ双陸ノコト。塞ワ、酬也、ムクウトヨム。兩塞ガ一塞ト云ワ、不落トモンデ抛ケタモ、不昧トモンデ抛ゲタモ、本ト勝ち目ハ一ツニムクウタ門也。墮ガ脱ト見バ、二ツ無」キコト云エバ、墮脱ノ兩頭ニ取リツキ窟宅スルホドニ、千錯万錯ト、其ノ窟宅ヲ打破メ」ノケタゾ。」

俱胝一指。代云、看他ノ本色住山人ト、大千控聚ノ無一塵。私云、詰問アル毎ニ一指ヲ堅テタハ、「禅道佛法ノ問ダヲ、尽クタワコトト拂イ立タコト。呈ニコソ、當則ヲバ、諸話頭ノ掃地古則ト心得タガヨイ。」乍去、月江派下ノ久參デ無ンバ知マイ。代ハ、話頭公案間ダヲ、皆ナムサラシイト堅テ拂ツテノケタ。」時キガ、本色ノ衲子タ。是レガ、住山人ダ。チャツト堅タ指頭ヲ以テ、大千沙界ヲヒ子リアツメテ於イタ。」古人ガ當頭ヲ拳ケテ、上通霄漢、下徹黄泉トシタ。チャツト堅テタ処ヲミサシ。上ワ梵天ノ頂キ、下ハ無間ノ底迄デ、タツタ一指頭デ居タ。爰ハ一微塵呈モ、交リ物ガ在テコソ。爰ヨリ万端ニ受用シタ呈トニコソ、不尽ノ禅デハアレ。○尊上座註破云、大千控聚シヤウワナント、チャツト拳ニ指頭ヲナリ。拶云、与麼時如何。云、巨靈擡手ヲ処、万古黑漫漫。心ワ、チャツト堅(一ウ)タワ、巨靈。大力量底出現タトキ、学人疑情ノ山嶽ワ、クワラリトクツレタ。此ノトキ、娑婆世界ワ、末ツクラヤミト成ツタ。ソツ陀是非分別ノ出デヌコトダ。ヤガテ、開無門ノ頌モ、此ノ心。無門頌云、俱胝鈍置シテ老人ノ竜、利刃単提イ勘ス小童ヲ、巨靈擡手ヲ無多子、分破花山ノ千万重。私云、鈍置ワ、鈍滿漢ト云心。ナンデモサセル深イコトハ無イニ、天童門下デ、一指頭ノ禅ヲ心得タ杯ト、賣師ゲナク云ワレタワ、「サナガラ天龍ヲ鈍滿漢ニシタコトダ。夫レサエ許多ノコトダニ、亦タ西モ東モ知ラヌ童子ノ指ビヲキツ」タワ、真トニサゲスシタワ、デスキタ、不レ入コトヂヤト、マツ抑下スル。走シテ、三四ノ句デ卓上スル。俱胝ノツ、ト」切ツテ落ス當鋒下デ、童子忽然トノ領性ト、巨靈人大力量底ガ出現シタ。爰デ童子無明ノ業山ワ、クワラリト崩レタコト。」

胡子無鬚。代、本色ノ衲僧開レ口ヲ不レ説。取、三寸ノ舌頭無用処。私云、西天ノ胡子トワ、達磨」ノコト。鬚ゲムク入

道ヲ、鬚ゲワ無イト見ル眼ガ在郎ズ。総別鬚ゲト云モノワ、カザリダ。宗門デワ、「第二義門二下テ、堅説横説ヲ為ニスルガ、鬚ゲヲ作り立テタトダ。達磨、直指人心、見性成佛デ、卒度」モクドカズ、在ル鬚ゲヲモヒンモイデ除ケ、カナグリ落シテ捨テタ人ナ呈ニ、鬚ワ一筋モ無イトキガ、本色ノ納」僧デツイニ小グサイ口ヲ開カズシテ、護リニ舌頭ヲ開カズ、為ニ説得セヌ呈ニ、三寸ノ舌頭ハ無用処ダ。○「尊上座註破云、如何是本色衲僧。代、従前慣レ奪ニ飢人ノ食ヲ不レ待ニ諸方ノ臭」口開「ヲ。心ハ、ムサラシイヘドカスニ取リツク処ヲ打テ落シ、咬ミ着ケケ放ツテ於イテ、卒度モ臭キノ」臭イ口門ヲ開カセヌトキガ、本色ノ衲僧ダ。無門頌云、痴人面前、不レ可レ説レ夢ヲ、胡子無鬚、惺」（2オ）々添レ懣ヲ。私云、痴人ワ愚痴暗昧ナル学者ヲ云。愚痴暗昧ニノ叶ヌ学者ニ向テ、色ノノタワ「ヲ」ツキ、説破ノ開カスルワ、皆ナ寐語ヲシタ呈ノ「ダト云底ノ人ワ、ヨク直指単傳ノ旨ニ叶ツテ、言句機」境ヲハナレタ「。惺々ワ、サムルトヨム。活祖ノ眼睛ワ、鈴ヲ張ツタ如クニシテ、卒度モ眠ム氣ガ無キ。在ルヲ、色ロノタワ「ヲ」コキ、ヨダレヲ流スワ、早广懣トナツテ、胸懷ノミダレ「。懣ハ、心乱也ト、毛韻」ニ見エタリ。○惺々ハ、醒ノ字ノ心。肚裡惺々ト云時キモ、心持ノイカニモイザギヨイヲ云。」

香巖樹上。代、^{カウシヨ}口上^{マヤ}着^{カシヨ}来^{カシヨ}無^{カシヨ}咬^{カシヨ}処^{カシヨ}。方知^{カシヨ}千^{カシヨ}聖^{カシヨ}モ^{カシヨ}能^{カシヨ}傳^{カシヨ}ル^{カシヨ}。又、三世ノ諸佛口掛^{カシヨ}壁」上^{カシヨ}。私云、ドノ話頭公案モ、何ゾレ遶路ナ「ワ無イ。アルガ、就^{ツク}中^{ツク}當^{ツク}則^{ツク}ガ、ツ、トノ難問ダ。マツ譬^{ツク}エバ、人ガ樹^{ツク}ニ上^{ツク}ラウズニ、上ツテ於イテ、口チニ計リ樹ノ枝ヲ加^マエテ、手ニ攀^マジタ枝ダヲモ放チ、足ニ踏」エタ樹^{ツク}ヲモ放チ、只ダ口ニ含^マダ枝バカリヲ便^マトメ、中返^マニブラリツツサガツテ在郎ズニ、樹下ヨリメ、人ガ、如何是祖師西来意ト問ウベキニ、若シ何^マ陀答^マエタラバ、口チニクワエタル樹ガハヅレテ、ドウ」ドラチテ腰ノ骨ヲ打チ折り、死スベキ。亦口ノ樹子ヲ放サズ、有陀無陀答^マエズンバ、夫レハ所問^マ「背」イタ「ヨ。サテ、所問ニ背カズ、亦口ノ樹子ノハヅレテ喪身失命セヌ羊^マニワ、ナント對スベキゾ。身モ轉」ゼラレヌ呈^マノセバ路チエ、クツトヲツ、メテ於イタ。此ノ接^マ処下^マ点^マ身自在^マヲ得テ、活祖意^マニ叶イ」羊^マガ在郎ナ。爰^マテ良尊^マナラバ、只ダ咩^マ々ト云ラウズ物ヲ、咩^マ々ト云タニ、口ノ枝ダワハヅレマイ。サテ」亦タ、無言^マデワ無イト云テ、有言^マデモ無イト云ワ、語默^マ背觸、對不對^マ落^マチズ、樹上^マ樹下^マ」タヨラズ、有言^マ無言^マヲハナレタ「。処ガ、活祖意當的、生下未分ノ一句子ダ。香巖モ瀉山下^マデ」（2ウ）竹ケニ瓦^マヲハツチト當ル処^マロデ、生下未分ノ一句ニ叶ツテ於テ、此話ヲ建立^マタ呈ニ、當^マ則^マバ^マ句^マ外^マ承」當、生下未分ノ一句ト心得^マタガ好イ。ヤガテ虎頭上坐ノ酬對^マモ、生下未分ノ一句子ヲ、ホカト露^マノ「タ。爰」ガ香巖、趣向^マ呈ニ、イカニモ心好^マウ笑^マレタ。是レハ知音^マニ逢^マテノ笑^マイタ。爰

ヲ作家ノ快活ト云ダ。」代ハ、當則ワ、トツトノ大難則ナ呈ニ、三世ノ諸佛モ、歷代ノ祖師モ、天下ノ衲僧モ、豈シガ不
及、齒ガ立タ」ヌナント、吟ジ飯シ、咬ミ返シ、香嚴ノ本性ニハ咬ミ當ラレヌ。爰デ千聖不傳ノ旨ヲ好ク知ツタ。ダ
取」句、三世ノ諸佛ノ口ヲ掛ニ壁上ニ置イタト云モ、口門ヲ開カレズ、舌頭ノマワサレヌヲダト云処デ、香嚴ノ當行接
処下ワ、聞羊ズ。○尊上座註破云、如何是千聖不傳ノ一句。代、瞑目良久ノ云、「空劫已前無所住」。此ノ人ト終ニ不
涉思惟。心ハ、瞑目良久ガ生下未分ノ當躰、空劫「已前ノ自己、不涉思惟」人。爰ヲ千聖不傳ノ一句ト云。ト云
ワ、樹上樹下、對不對ニタヨラズ、「語默背觸ヲ離レタル人ノ」ヨ。是ヲ直指單傳ノ活祖意ト云。扱テ、當則ヲ昔ヨリ
ノ出身脫一體、透関・破関ノ兩位ニ沙汰スル筋目ガ、一透リ在ル。夫レハ、野僧杯ガ、管見ニワ合点致シ、其ノ證拠ニ
ワ、古尊宿達下語、代語ヲモ御郎ゼイ。出身脫體、透関破関ノ兩意ナド、云ノ「ワ」見エ不來ゾ。況ヤ古人ノ頌古・
批判ナドニ、其ノ羊ナサタワ無イト申ス。但シ浮世ワ廣キ間ダ、其ノ裡「モアルベシ。不妨者」。無門頌云、香嚴真
杜撰、惡毒無忌限、噀却衲僧口、通身「逆」鬼眼。私云、香嚴ワ、マコトノ杜撰。ナセーバ、直指單傳ノ
活法ヲ談義坊メガ、ヨダレ流ス羊ニ、「散々ホダレカチニ註却シテ出サレタハ、中々聞クモ淺間シイ」。乍去、作麼
生對「セント、ボツ、ノセメツ」(3オ)ノ、青ヲシルヲモミ出シ、皮肉ヲ絞カラシテ接シ、強面「魂」ワ、惡棘ノ性
ガアマツテ出デタ人。作麼生」對センタト、天下ノ衲僧ノ喉ドクビラジトシメテ於イテ、活眼晴ヲ開カセタ。通身逆
鬼眼トハ、三百」六十ノ骨節、八万四千ノ毫髮、手脚ノ瓜マサキ迄デ、活眼撥開ノ徑チデ居タ。○鬼眼ト」ワ死ス
ル時キ、喉ドガツマツテ、息キラ引ツキリサマニ、無明「見開イタ眼ノ」。○杜撰トハ、杜道」土ト云者ガ、八陽經
ヲ註破スルニ、鬻ノ字ヲ林四郎ト註破スル。是レヲ其ノ比取りサカナニ、天下デ」笑イグサニスル。アマリ註破
シスマイテ、鬻ノ字ヲ註脚シソコノウタ。夫レヲ杜撰ト云。禪門」デワ、人ヲ罵ル語ナリケリ。」

世尊拈華。代、一盃々々又盃、兩人對酌山花開。又、君臣合同ノ万年笑。取句、「夾山點頭。私云、本則ワ
定ヲ話頭ナ呈ニ、註スルニ不レ及。代、マヅ酒ノ用イ羊モ、サマ々々。其コ々々ノ坐敷ニ依テ、酒ケニアマタノ異名ア
リ。此酒ヲ取テ、自己デ用ル則シバ、千毒ノ酒ト名ツケ、」知不到デ甌ソブ則シバ、明酒ト喚ビカエ、向上デ賞スル則シ
バ、珍酒ト弄シ得エタ。サテ、世尊迦葉、兩人」對シ酌デ御ール処ワ、紛レヌ珍酒、珍味、壺底コト見エタ。此壺底ノ
「ナ郎ニワ、三人トアマノウタ者ワ、」アルマイナト云テ、兩人對シ酌ダ処ヲバ、山花ガ開キツレタトミ羊ズ。世尊・迦
葉、ドレモ一ツ花ノ色ダ。只ダ」花ト花トノ夕部デワ無イカト、取句モ、當則ワ、始本不二、位裡ノ對對ナ呈ニ、君臣

合道ノ処。其コニ「万年ノ笑ト云フガアル。此ノ笑ワ、傍觀デ知ラレヌヲヂヤ。取句、夾山ノ、船子一棹下デ、點頭三」下モ、ヨモ別ナルコトデアアルマジイ。此ノ涅槃妙心、別ノ旨ノコトデアアルト云モ、計ライ難イコトヂヤ。何ニ(3ウ)ヲカ合点シテ、ツブリヲ振り、ウナツイツ郎。○尊上座註破云、兩人對酌如何体究セシ。代、巨灵一擡手無多子、分破花山千万重。云、其ノ句ヲ説破ノ用処ニ立テヨ。代、千里ニ聳エタ「大花山ヲバ、巨靈神ガ臂破ノガ、サテ、兩人對シ酌ダ処ニ於テワ。心ハ、畢竟至本不二、師弟一般」ノ御坐ニ於テハ、巨靈神ノ力モヲヨビ難イト云心ヂヤ。是レワ、古人ノ意地ヲスコイテ除ケテ、自分ニ見「籠デ扱イヂヤ。古老達ノ着語ニ、此ノカ、リ多キナリ。巨灵神ガ、大花山ヲ劈破ノ由来ヲ」ヨセテ取ラヌ。是ヲ假(カ)捨(スツル)ノ法ト云。無門頌云、拈起(シ)来花(ヲ)、尾巴巴(ニ)露(ル)、迦葉破顔、人天(ニ)罔措(ナ)ク。云、拈ズレバ、微笑ガ尾巴(ニ)露シ羊。尾巴ト云ハ、本位ノ趣キヲ互イニ流通ノ、チヤツト首」尾ヲ合セタ。此時、百万ノ迷徒ワ、拈ジタ心持ハ、サテ何ントゾ、微笑ノ幾ワ、サテ何シトシタゾ。謾」リニ思量ホク度シ措ナキ。ア、マコトニ不敏ナ夏チヤヨナ。」

趙州洗鉢盂。代、六塵不(レ)惡、還(テ)同(シ)正覺(ニ)。又、絶(シ)擬議(ヲ)超(ル)ニキ思量外(ニ)、猶(ラ)是(レ)千(ニ)年ノ經(ヲ)多劫(ゾ)。私云、某甲乍入叢林、乞師指示ト云ガ、久參モ置キ、本トヨリ初心モ置ク一問。趙州一生涯ワ、不(レ)用(テ)棒喝(ヲ)、只タ平常ノ言語ヲ以テ、人ヲ接(テ)御(ス)ル。折節早朝喫粥ノ時分ナ」呈(シ)ニ、ヲヌシワ粥ユクウテカ、爰デモ聞エタナ。アレバ、此僧モ中々粥ユクウテ走。処ヲ、粥クウタラバ、「鉢ノコ洗ツテ置ケト被仰ル、ト云ノ即今ワ、悪クスレバ、自己ノ鉢盂ニ得法ノ味嚼塩ヲガシミ着」クゾ、ト云ノ心持。其ノ僧有(リ)省ト云テ、全ク此僧ガ、何ンデモ得タデワ無イ。サテ、何ンデモ心得」タラバ、此ノ僧於(テ)有(リ)省ト置クガ、於(ニ)言(フ)下(ニ)領悟(ト)モ置クベキガ、只ダ其僧有(リ)省ト云ワ、卒(シ)「(4才)度モ會得承當ノ出デヌ処ガ、省処ヲト、コチヨリ云イカフセテ置イタ。代ハ、マ先ツ六根六塵ト云フアリ。」眼耳鼻舌身意ノ六根上ニ、色声香味觸法ノ塵ガアル。此六塵ヲ拂ツテ見ルワ、悪イコトダ。サテ、不(レ)惡(ト)云ワ、六塵ヲ不(レ)拂、其ノ俣デ正覺ノ位イニ契ツタ。爰ヲ轉肉身即位大覺トモ云イ、一超直入如来地」任云タ。當則エ合セテモ、左入ノ俣、其コデ正覺ノ位ニ叶ツタトキ、六塵惡マヌ。取句モ、此僧」入り派ノツ、ト早イヨリ見レバ、擬義思量ヲ離レ、千聖ヲ超越ノト云モ、ハヤ千年万年ト月日ヲ送」テ修行ヲシ、百億劫ヲ經タ」ヨト云ワ、此ノ僧ノ処ヲヨク云ウベキ為メ。○尊上座註破云、六塵不(レ)惡、還(テ)同(シ)正覺(ニ)、与(レ)麼(ニ)時如何。代、無吼鉄鎚重(レ)下(レ)槪。心ハ、六塵ヲ拂ワズ、其俣デ正覺」ニ叶ツタ処ヲバ、無吼ノ鉄鎚ト見羊ズ。三世歷代ノ手ガカ、ラス、取りツキ処ガ無イトキ、卒度モ響」キ

ワ無キ。重下^レ楸ト云ハ、楸ヲ下ノ、楸処ノ無イ処ヲ見タ^クダゾ。○無門頌云、只為^ニ分明^ニ極^{シカ}、飄^テ今^ノ所得^ニ遲、早知^レ燈^ノ是^レ火、飯熟^レ已^ニ多^ク時。私云、當則^ワ口^ヲ啜^リ粥^ヲ了^レ也^ト迄^デヨ。分明^ニ極^{メン}、思量^ト度^{スル}ニ依^テ、所得^ガ遲^キ。夫^レデワ、彌勒^下生^ニ到^レデモ、フ^ツ、ト心得^ラレマジキ。生得^テ燈^ヲバ火^ト知^ツタ迄^デヨ。時^キガ、早イ^トダ。処^ヲモ、飯熟^{スル}コト已^デニ^ト多^ク時、ハヤ時刻^ヲ經^テ、ノビクサツタ^{コト}云ガ、削^リ落^シ羊^ニ。総別^テ趙州^ノ家^デ、平常^ノ道^ト云ヨリ早イ^{コト}ガ在^テコソ。早イ^ト云ワ、境^イ目^ノ見^エヌ^{コト}。

奚仲造車。代、時節到來開^レ口笑。取、吳天嘯^月、楚地遊^花。私云、奚仲^ト云ワ、「軒轅^王ノ臣^下。植輪^ノ轉^{ズル}ヲ見^テ、車^ヲ造^リ出^シタト在^ル。軒轅^トハ、黃帝^ヲ云。三皇^ノ（4ウ）内。月庵^ノ杲^ハ、楊岐^四世^ノ孫。開福^寧ノ法嗣。月庵^ワ、奚中^ガ車^ヲ造^リ始^メタル由^来以^テ、我宗^ニ引^キ合^セテ見^ラレタ。マツ由^来ノ時^キワトモアレ、サテ修行^ニ取^テ、車^ト云ワ、五尺^ノ境界^界云。向^ミレバ、生死^ノ兩頭^ガ輪。心^ガ軸。喩^言バ、奚中^ガ車^ヲ造^ルニ、ケツカウ^ニ造^リスマシテ、推^シテ見^テ少^シモ不^レ点、シブル^ル処^ガアリ、キシル^ル処^ガアレバ、ホカト打^クツシテワ、ソツト^モ角^ノ在^ル処^ヲ削^ツテ落^シ、ヒツ^ンダ^ル処^ヲタメナ^ラシタ。如^レ此^ノ造^リナ^ラス^{コト}計^リガ、百軸^ニ及^ブ。其^ノ後^チハ、此^ノ車^ヲサ、スル^ニ、轉^々阿^一輓^々、十方^八方^エ自由^{自在}ニ点^{スル}。宗旨^デモ正師^家ノ鎖^ヲ鉗^下デ、角^トシノギ^ノ間^タヲ、クツト^トモギ落^シ削^リ落^サレテ、自然^ニ自己^ノ車輪、活機^輪ノ点^{スル}時^節ガアル。夫^ノ直^下ワ、甚^麼邊^ノ夏^ニカ明^シク^テ、兩輪^モ折^レ、涅^粹ノ軸^ヲ碎^ケテ除^イタ^ル処^ガ、衲^子ノ活^機、一車^輪。代、時節^ノ到來^ト云モ、自然^ニ二時^分時^節ヲ以^テ、ホカト活機^輪ノ轉^{ズル}徑^チ、カラ^タト笑^ツタ。此^ノ笑^イワ、再^ビ難^レ逢^笑ノ^{コト}。是^ヲ衲^僧快^活ノ笑^イト云^ナリ。取^句モ、一度^車輪^点ズ^ル徑^チニ逢^ワズン^バ、月^ニ嘯^キ花^ニ遊^ブハナル^{マジ}キ。月^ニ嘯^キ花^ニ遊^ブト云ハ、大^休歇^ノ地^ニ到^リ、内外^凡ニ平^穩ノ^人ノ^コヨ。○尊^上座^註破^云、時^節到來^開口^笑、誰^是當^底底^人。代、拍^手呵^々大^笑。心^ハ、當^底底^ニ。揆^云、更^ニ請^着一^句。代、腰^纏ニ^十萬^貫、騎^レ鶴^ニ下^揚州^ニ。心^ハ、大^笑快^活ノ徑^チガ、不^足無^イ。其^コヲ飽^滿ノ地^ト云。無^門頌^云、機^輪轉^處、達^者猶^迷、四^維上^下、南^北東^西。私^云、機^ト云ワ、車^ノ輪^タチ^ノ。自己^ノ活^機輪^ノ点^{ズル}當^頭ハ、一^釈迦[・]達^磨モ迷^ツタル^{コト}云ワ、端^ノヲツヨク^ク云^ベキ^為。此^車輪^ヲ、四^維上^下、南^北東^西ノ間^ヲ、飛^行自^{（5オ）}在^ニ走^ル。少^シモト、カウ^リガ無^キ。此^車ノ縱^横自^在ニ飛^ンデ、早^イヨリ見^レバ、電^光ノヒツ^カト^ノハ、七^零八^落、ノビ^クサツ^タコト云^テ、畢^竟心^ノ受^用三^昧ヲ云。揆^云、機^輪点^處、於^ニテ日^用邊^ニ作^麼生。代、朝^遊西^天、暮^飯東^土ト云ハ、爰^デ西^天ノ^コヲ思^エバ、

西天エ此ノ車ハ飛」ンダ。東土ノ「ヲ憶着スレバ、東土エ此ノ車ハ走ツタト云ワ、此ノ心ノ「ヨ。心隨三万境三点、々処実二能ヲ迷ト云モ向」。

大通智勝佛。代、只ダシゲレ庭ノ夏草思ウ呈路アルトテモ問人モ無シ。私云、大通智勝」仏ノ由来ヲ、法花三卷化城品ヲ以テ見ルニ、壽キ百四十万億那由他劫トアル。智勝仏始終ノ「ヲ比量ノミバ、世尊一代ノ行迹ト不差。亦林齊ノ録ニ、此經文ヲ挙ノ、一々ニ説破被成タ」見ルニ、常ノサタト別。○オノ云、大通ト者、是レ自己ナリ。於二処々ニ達三万法三、無性無相ナルヲ、」名曰大通」。△心ハ、自心發生ノ時節、森羅万像、虚空法界、タツタ一枚三通通スル。』アレ氏、此心ハ、無性相ニノ没蹤跡、ト云テ、一向ニ性相無イト見ルニ、空見。此ノ心ハ、無相ヲ以テ性トシ、無相ヲ以テ相トスル。故ニトツコエモ大ニ通スル。細ニ入ニ微塵ニ、大絶ニ方処ト云モ、爰ノ「ヨ。○濟云、智勝トハ、於二一切ノ処ニ不疑、不レ得ニ法ヲ、名為智勝ト。△心ハ、智ト云ハ、心ノ用。用トハ、受」用ノ義。勸シ派ノ「。心ハ、體也。心發セザル則ンバ、マダ智現セザル。十劫ノ間ダ心未レ發、十小劫過」テ成ニ佛道ヲガ、自己ノ心發明。ソコヲ智ノ現処ト云。大日輪ノ發光ヲ、如照三三千大千世界」。其コハ体用任ニ明白ナ呈ニ、万端ノ上ニ疑イ無キ。一法ト云ワ、法則ト云テ法度ノ「。十小劫ノ」(5ウ)間ダノ坐禪修行ワ、マダ法度法則ニカ、ワツタル「。扱テ、自心發明ノ佛道成熟ノ時キ、其ノ法則」法度ニカ、ワラヌ処ハ、不レ得ニ法ヲ「。此ノ人ヲ教育家デハ、妙覺ノ如来ト云テ、祖師門下デハ、大無」亶底ノ活道人ト云。祖教任ニ、爰ガ最極無上活境界ナル故ニ、智勝ト云。齊云、佛者ハ心清」淨ノ光明透徹ノ法界ニ、得ニ名爲レ佛ト。心ハ、有相色身ハ、不清淨。心ハ、無相ナルガ故ニ、清淨」。心ハ、無相ナルガ故ニ、清淨」。此清淨ノ光明ワ、法界ニ充滿ノ、圓滿ノ圓通無碍。是ヲ名ケテ佛ト云。十劫坐劫」尽キテ後チニ、此ノ一仏ヲ悟ルガ成佛。濟云、十劫坐道場者、十波羅密是。心得ハ、十波羅密ハ、十戒。十戒ト云ハ、第一ニ不殺生戒、第二ニ不偷盜戒、第三不行姪欲戒、第四妄語」戒、第五ニ不飲酒戒、第六不レ説四心過羅」戒、第七ニ不レ自讚毀レ他」戒、第八不レ慳貪」戒、第九不レ嗔恚」戒、第十不レ謗三」宝」戒、此ノ十戒ヲ保護スルガ、十劫ノ間ダノ」坐劫ノ經羊。此ノ十戒ヲ保チ、十劫ノ坐劫ヲ經尽サズンバ、佛道ヲ果滿ワ得ラレマジキ。濟云、不

得成佛道ト者、更ラニ不レ應レ作レ佛ト。心ハ、本佛ニ至テ重テ成レ佛ト云サタハ無」キ。此本仏ニ生癩茂契ヲ成仏ト云ナリ。此本佛ハ向レ外ニ不レ可レ見、人々分上ニ高ク着レ眼看。濟云、此經文ヲ人々ノ自己ノ修行ニ合テ、如此注脚被成ル、。サテ、化城喻品ノ説ヲ見ル則ンバ、」是モ少シ違切スルカ。亦此僧ワ、マダ叶ワヌ初心ナル故ニ、本佛相見ノ処ヲバ

不問ノ、十劫ノ間ダ」ノ修行ヲ問ヘ。呈ニ、讓和尚ヲ手ヲ付ケズノ、其間甚諦當ナリトハ、ヲヌシガ一問シタル經文」ノ中ニ、諦^{アチカ}ニ在ル、能ク看ヨト云テ、放シテ於カル、也。処ヲ、既^レ是坐道場、為^レ甚麼不得成佛道」(6オ)デ走ト問タハ、禪坐修行ノ道場ヲ本佛道場ト心得テ、殊ノ外カ錯ル。在レバ、讓和尚為^レ伊ガ不^レ成佛^ルガ。ヲウ、中ノマタ成佛ノ眼ヲ開カヌニ依テ、十小劫ノ間ダ、道場ニ坐シテ坐禪專ラトシテ走^レト被仰ル。扱テ日本、曹洞宗デハ、古尊宿ヨリシテ、大通智勝ヲ向上不出一佛ト心得テ、參得杯ヲモ^レ向上貧処ニサタナサル、。其レニ依テ、大方ドノ長老モ代リヲ貧処不出ノ趣キニ斗リアツカル。是レ皆ナ^レ法華化城喻品ノ說ニモ差イ、亦林才和尚ノ注却ニモ尽ク相違スル。在レドモ、先師ヨリ以來タ錯^レリ来ル。故ヘ二月江和尚ノ御代モ、向上ノ貧処不出ト心得可シ。歌ノ作意モ、門裡ヨリノ門外ヘ向テ^レヨム。庭ノ夏草思ウサマ茂リタイ羊^ニ茂郎迄デヨ。ナセ^レバ、路ガアルトテモ、人ノ行キ来ガアルニコソ。トテモノ夏ニ、路筋ノ見エヌ呈ニ、茂レトヨシタ歌。宗門デハ、処ニヨツテ草ヲ低ク取ル夏モアリ。落草ノ段ト云テ、第二儀門ト云。サテ、亦草ヲトツト高ク用ル夏モ有ル。門前依^レ旧^ル草芊々ト云時ワ、草ガ高キ。總別洞上デワ、草深イゾ、苔ケ厚イゾト云ハ、父子路絶^ルノ処ヲ云。臣主相忘^ルノ古殿寒イ杯ト云ウ処ヨ。君ミノ無^レ礼、臣ノ無^レ忠^ル云ナリ。夫コヲ無^レ寒^ルノ処ト云ナリ。兼中到^ルノ一位ト云。其コハ不出不滅ノ道場ナ呈ニ、寒暑偏正是非好悪沙汰^ルガ無キ。夫コニ坐シタ人ワ、本仏當^ルナ呈ニ、成佛不成佛ガ無キ。○尊上座注破云、山僧不用古長老邪説如^レンバ、證^レ釈迦老子ノ金口^ヲ、十小劫座尺後、成阿耨^レ一^ニ三^ニ提心^ヲ処^ニ作麼生領會。代、挙ス。良久極睡而卒度開^レ眼。心得ハ、良久極睡ノ処ハ、十小劫ノ間^ニ坐禪ノ道場坐^テ、工夫三昧ヲ打成一片ノ當体。夫コデ卒度睡リヲサマシ、眼ヲ開イタハ、自心(6ウ)發明ノ徑チ。処ガ、阿耨菩提ノ成シ羊。世尊ノ見明星悟道ト一ツ。云、請一句。代云、上^ニ透^リ霄漢^ニ、下^ニ徹^ス黃泉^ニ。心ハ、發明ノ時節、我レモ不^レ覺、自然ニ眼ヲ開イタル処ヲ^レ見サシマイ。上ハ梵天兜卒ノ頂キ、下ハ無間業落ノ底迄デ、タツタ一目一心デ柱エタル。自己光^ニ明、蓋天蓋地。此直下ヲ、有情非情、同時成道ト云。此説ハ、今時ノ猿引長老ハ云不^レ及^レ、瞎学人ハ夢ニダモ不^レ會^ル者。無門頌云、了^レレ^テ身^ヲ何^ニ似^シ了^レレ^テ心^ヲ体^ニハ、了^レ得^ルハ、心^ヲ并身不^レ愁^ル、若^シ也^ハ身^ヲ心俱^ニ了^レ々^ナラバ、神仏何^ニ更^ニ封^シ候^ニ。心得ハ、一句ハ先ゾ十劫ノ間ダハ、色身計リヲ了^レ、此ノ本心ヲ悟ラザル。本心ヲ了スルガ、休処ノ得羊。色身計リ^レ了スル支ヲバ、何ソゾ似シト取ラヌ。二ノ句ハ、此ノ本心ヲ了得スレバ、色身ヲ拂ツテ見ヌ^レ。サテ、色身ヲ拂テ見ルハ、愁イタル。此本心ヲ了得スレバ、本心ハ色身ノ外カニ不^レ可有。如此色^ニ身本心、俱^ニ了得スルガ、神仏ノ

妙薬ヲ不レ用シテ、人間ノ俤デ仙家ノ妙術ヲ得テ、飛行」自在ヲ得タリ。爰ヨリ見レバ、留ノ天喬ガ神仏ノ妙薬ヲ咄ウテ、天ニ上ツタルハヲカシイヌ。」タワリ。夫レヲ何ニガ候ニ封ヌノ用処ハト云ハ、候ニ封セラレマジキ。候ハ、諸侯ノ一。』

清税狐貧。代、絶^ニ氣息^一処^モ百^{ナガ}不知^チ、猶^ヲ従^リ前^ノ帯^ビ氣息^ヲ来^ル。私云、清ワ氏、税^ハ名^ニ。清税ト云ウ僧ガ、曹山ニ一問スル。狐貧ト云ワ、大休大歇ノ只チ、佛世氏ニ一句ニ放却ノ、徹」底無一物ノ処ニ陶ツタルヲ云。賑濟ハ、ニギワシクスクウトヨム。某甲ハ徹底無一物デ、此比口打」飯ニモ不^レ及底ナ呈^ニ、和尚ノ殘飯ナリ氏下ダサレト云。ト云ハ、曹山ノ処ヲバ、マダユ、シク濁富ナ門戸」（アオ）ト見下ヌ。全^ク曹山ニ句ギレノ一ツモ指示ナサレト云ノ機デハ無キ。我ガヨク徹底無一物ノ処、孤」貧承當旨ヲ呈露シ羊。在レ氏、孤貧承當ノ処ヲモ肝要トモテバ、虚位空劫^ニ沈^ニタ^一」ダ。其コヲ税闍梨ト忽ニ喚ビ起スガ、孤貧ノ処ヲモ指シ放シ羊。爰デ、税闍梨モ不^レ覺」應諾シタハ、孤貧虚位^ニ沈^ニマ^一ヌ。爰ヲ一機ノ發処ト云。在レバ、曹山ハ、エイキヤツ、生シ」イ入道メガ、青原百家ノ濁醪ヲ三盃充、幾盃トモ無ク、喉ド本トニ余ル呈クライ」籠ンデ、マダクライ蔵シラスル意識入道メガト、闍カニ呵責ノ削リ落シテ御一ル。青原ト云」処デ、濁醪ヲ作テ賣ル。白八百。白家トハ、家ノ百計リアル村里。聽^レ而曹ノ近処。代ハ、孤貧承當ノ処ハ、絶^ニ氣息^一、空劫一位、死処^ニ彻底シタルヌ。夫コハ百不知デ、所智所解ノサタハ」無キ。処ヲモ、曹山ハ、其レコソ従前氣息、生マシイ入道メダト打テ落スガ、一トカスリカケ羊。○尊上坐云、絶^ニ氣息^一、処^モ百不知、猶^ヲ従前^ノ帯^ビ氣息^ヲ来^ル意作廢生。代」鷲^ノ割^キ肉^ヲ、針頭^ニ削^レ鉄^ヲ。心ハ、鷲ノハギハタ、トツトホソイニ依テ、カラリツトノ皮肉一点モ無」キ。夫レヲモマタ皮肉重イト削リ落フ、亦針先キ杯モ、禾^ノ先^ノ杯^ノ如ク、ツ、トホソイ者。夫レヲモマダ」フトイゾト云テ、削リ落フ。爰テモ絶^ニ氣息^一、処^モマダ能クモ死ニキラヌ、青ヲ汁^ヲ入道」メダト云ガ、削リ落シ羊。曹洞門下デハ、三段氏ニ削リ派ノ修行ガ無クテ叶ワヌ。アルイワ三位モ夜參モ点処ニ云ト疊^ミアケテ行ク時キハ、畢竟捨テ派ノ修行、削リ派ト心得可シ。爰ヲ」工夫大ヌ。無門頌云、貧似一^ノ敢^テ与^レ富闘。云、范丹ハ、天生貧者。一^ノ期^ノ中^ニ七^{十二}（アウ）个^ノ住^居ヲ移シタニ、ドツコエモ大盤石ガ迹ヲ逐ツテ、屋敷^ノ内^ニ在^テハサ寥デヲ一本種エ可キ」寸土無キ。此僧徹底無一物、孤貧ノ処ニ當^リシタハ、サナガラ范丹ニ卒度モ不^レ差。在レ氏、曹」山ノ処ヲマダ濁富ニ躡^ミヌカツタト視下シタ氣概ハ、漢ノ高祖ト、七十余戦ノ軍サ場デ、高名」ヲ逐ケタル項羽ト等キ。大福長老ノ羊ナ人ニモ、存分ハマケザル也。カラリツトノ一紙半丈錢」ニモ

不_レ及、此僧_ナ呈_二、何_シデモ有_レ、活計遊山_ゲナ_ハ無_ケレ_レ、存分氣槩_ノ快活_ニ、娑_婆世界_ヲ芥子_ツブ_トモ思_ワザル_ハ、外記_杯ト云_ウ男_コガ_羊ニ、項羽、高祖_如キニ、一天海_ヲ「掌内_ニ握_ツタ人_トヲモ、土子_カツ_タイトモ思_ハヌ心持_シ。此僧氣性_ノ闊_カナ_ヲホメタル_ヲナリ。」

趙州_ニ庵主_ヲ勸_破。代、別々_不別。私云、二庵主_ハ、一庵主_ダト云_説有_リ。夫_ハ妄語_シ。二庵主_ノ居_処モ、各々_別ニ_ノ、間_ダ千里_計リ_隔ツ_シ。二庵主_トモ各々_別シ。捨_別庵主_ト云_ハ、一句_下ノ_休処_ガ、ツ、ト無_端ニ_依テ、知識_号ヲ_カシク_思ウ_テ、人天_ノ為_ニナル_ヲ、タワ_更ダ_ト見_切ツ_テ、一句_ニ、深山_幽谷_ノ樹_下石_上エ_引籠_ンデ、佛祖_位中_ニ滞_在セ_ンヲ、庵主_ト云_シ。見_地見_性ガ、トツ_トツ_ヨイ_ニ依_テ、如此_行「李_スル」。趙州_ヲ、庵主_モ休_処ノ_実不_実ヲ_勘弁_ス可_キ為_メニ、有_リヤ_々々_ト云_ワ、何_{ント}庵主_ハ内_ニヲ_リヤ_ツタ_カト_ラセ_ラル、。如此_問テ、庵主_ノ働_キヲ_カナ_ビイ_テ見_ル。爰_デ、休_処ガ_甲斐_シバ、得_法ク_サイ。更_ヲ取_テ出_ダ走_ズガ、休_処ガ_ツ、ト_闊カ_ナニ_依テ、少_シ法_令ゲ_ナ更_ヲ取_テ出_ダサ_ズ、只_タ何_ニト_無ク「一寸_ト拳_頭ヲ_拳グル」。爰_ヲバ、凡_凡聖_凡、龍_凡蛇_トモ難_レ弁_更。処_ヲ、趙州_ハ水_浅一_処ニ_イヤ_々々_一向_ノ死_水ナ_呈、大_船杯_テ垂_リ浮_ウズ_漾デ_ハ無_イト、先_ツ上_エヲ_抑下_セラ_ル、ナ_リ。在_ルガ、ウ_(8ウ)ラ_ワ卓_上。庵主_ノ処_ハ、禪_河ノ_水脉_モ乾_キ、教_海ノ_波欄_モカ_ラリ_ツト_尽キ_果テ_タ呈_二、來_參ノ_客モ、「船_ヲヨ_セ掉_ヲ回_スハ_{ナル}マジ_キツ_ト云_フ心_持。亦_一庵主_ノ処_ニ到_テハ、如_レ前_ノ探_竿被_成ル、。在_レバ、此_庵主_モ拳_頭ヲ_{一寸}豎_起ス_ル。是_レモ心_持チ_ハ、前_ト一_意。能_蹤一_活ト_云ハ、蹤_ニ奪_殺活_凡ニ_自由_{自在}ヲ_得ル_ヲ更_ハ、庵主_ノ処_ニ極_ツタ_ト、先_ツ上_エハ_卓上_ヲ、裡_ハ抑_下シ。如此_二庵主_凡」ニ_末ツ_一ツ_羊ニ、拳_頭ヲ_豎起_ノ処_ヲ、前_庵主_ヲバ_抑下_シ、后_庵主_ヲバ_卓上_シタ_ト云_テ、前_庵主_ノ拳_頭ヲ_嫌シ。后_庵主_ノ拳_頭ヲ_取ツ_タデ_ハ無_キ。老_趙州_ハ、叢_林傑_出ノ_活道人_デ御_一ル_呈ニ、「只_時ニ_望デ、ソ_シル_口ニ、出_ツル_マ々_ホメ_タ迄_デヨ。少_シモ_定相_ハ無_キ。必_シモ_ソシ_ツタ_ト云_テ、ソ_シ」タ_デモ_無ク、ホ_メタ_ト云_テ、ホ_メタ_デ無_キ。何_デカ_{アル}ラン_千山_桜ラ_ヂヤ。趙州_ノ尊_意ヲ_バ、抑_揚褒_貶「ト_心得_可シ。前_庵主_ヲバ_貶リ、后_庵主_ヲバ_ホメ_ラレ_タホ_トニ、先_ツ上_エハ_別々_シ。在_ルガ、ソ_シツ_タガ、ソ_シ」ツ_タデ_モ無_ク、ホ_メタ_ガ、ホ_メタ_デモ_無ク、ホ_メタ_ト云_モ、ソ_シツ_タト_云モ、心_持ハ_一ツ_シ。ト_見レ_バ、不_別デ」別_ナラ_ヌ更_也。

○尊_上座_註破_云、趙州_老作_家抑_揚褒_貶ノ_処作_麼生_{。代}云、「没_量大_人、向_語脉_裡点_却ス。心_ハ、老_趙州_ハ、圖_ヲ離_レ、格_ヲ超_エタ_活達_{自由}」道人_ナ呈_二、没_量ノ_大人_シ。或_時ハ_人ヲ_眨ル_時モ_有ル_可シ。褒_ル時_キモ_{アル}可_シ。天_マヲ_倒ニ_ナリ」凡_、云_イタイ_俛ニ_云ワ_デワ。時_キ、物_ヲ云_語脉_ノ内_デ、早_ヤ点_却シ_{タル}更_シ。云、此_句ヲ_説破_シ來_レ」看_シ。代、

光へ。自喚自「應諾ヨツ、珠發レ光也。喚底ガ、應スル底ノ主、應ズルガ、喚底ノ主ト見レバ、光リ還ツテ自照タゾ。」一箇惺々底、」代、白沙翠竹江村暮、相送禁門月色新。取句、空樓月」独朗ナリ。私云、マズ醒ハ、サムルトヨム。十二時中喚ビ尽シ、應ジ尽シテ、打成一片ノ処ワ、熱瞞」ノ間ダノ醒メタル胸懐へ。惺々ト二ツ於イタワ、初メノ醒ハ、ヨビ醒シタルヲ云へ。后チノ醒ワ、應」ジ醒シタル」云。代ワ、喚ビ醒シ、應ジ醒ジテ、サビ上ツタル胸懐ヲバ、松嶋ノ縮辺ノ夕」(9ウ)暮ノ景ヲ以テ見デワ、翠竹江村ノ物ノスゴイ景デ無クンバ、熱満ワ惺サレマジキ。悟処悟辺」熱満賓客ヲ尽ク送り捨テタ。翠竹江村夕部ハ何ント、但ダ禁門ニワ、月斗リヂヤ。捨別」此ノ句ヲ音下デワ、送行ノ句ト云へ。識神精魂ノ賓客ヲ尽クコソキ除ケ、送り捨テタル跡ト」底へ。但タ空樓空閣ニワ、月キ独リ照シタ迄デヨ。人影ハ、チロリツトモセン処ロガ、主人ノ居処へ。捨別」平生モ見サシマイ。高位ナ主人ノ近辺ナドニ、土僧ナドワ音リ付キ得ン物ヂヤ。不受人瞞底。」代云、梨花顛ト明月夜ト、一生相伴テ不レ得」飯ルコトヲ。取句、人伴」花ニタ伴」人ニ。又、玉手圓」花」蕊」打」黄鶯」心得ワ、喚ビ尽シ、應シ尽シテ、惺々タル人ガ、乃チ人ノ瞞却ヲ受ケン」底ノ人へ。トツト氣高イ人トへ。此ノ人ヲバ、撰政、関白、花山ノ院殿ノ金達ナドニ比メ見ベキ。千佛」万祖ト云」ワモ打チワスレテ居ラレタ処ヲ見サシマイ。少シモ人ノ瞞ヲ受ケン」云。爰ハ、花カ人カ」々々カデ、更ラニ諦訛折角ノ見エン」云。此ノ羊」手本ナラバ、十指ハ瑠璃ヲ展タ如クデアルベキ。其ノイツクシイ手ヲ以テ、花蕊ヲ束子テ、黄鶯ヲ打ツ。真トニケ高イ手中ダ。十人ノ瞞ヲ受ケ」ザル人ノデワ無イカ。四箇一句道将来。代、一道靈光触」処」周」云、鬼ニ向キヲ舞イ、倉間天狗トナツテ、踊ツハ子ツシ、亦カツラノシタヲ舞イ、楊貴妃ヲ舞ウテ出タガ、元太夫」殿ハ、ヒトリ。其ノ如ク四个ト分ツテ、色口」サマヲ易ヘタガ、畢竟一道ノ靈光、一主人へ。此ノ主人公殿」ガ、何ニトモナツテ出タ」云。別ノ物デハ無キ。尊上坐注破云、山僧亦如何東四箇為」一个道得。代、四箇生得一个。々々ハ、何ニ物デカアルヤ郎、更ラニ知り走ン。云、請着一句来。(10才)代云、本来既」無」一物」花柳、一任」青」紅」心ワ、本来ワ、一箇ト云モ無イ」ヂヤト云へバ、一向ウニ無イト斗リ心得ル。何ニガサデハア郎ズ、一箇モ無イガ、一物へ。此ノ一物ヲバ、柳緑花紅」上エデモ見デワ、一物ト云イ、」主人公ト云ワ」ツ。名異」ニ」体同キ者」云。無門頌云、学道人不」識」真、只」一」神無」一」本」一」人。私云、学道」人ト云ワ、参去参来ノ学者ヲ云へ。江西湖南へ行」ツ皈ツシテ、尋子回ツテ見ルニ依ツテ、真実ノ主人公ヲバ知ランゾ。サテ、尋覓シテ見ルハ、皆」ナ識神精魂へ。夫レハ無量劫来ヨリシテ、生死輪回根本へ。痴人ト云ワ、叶ワン愚痴語昧ナ」学者ヲ云へ。不開道眼、愚痴語昧ナ学者ハ、己

レガ識神(精カ)情魂ヲ喚シテ、是レコソ、本」來人ノ、主人公ノト云テ、自己ヲ崇敬スル、其ノ類イノ沙門ハ、長ク無眼阿毘獄ノ滓トナツテ、「万劫ニモ難出離者ノ」。ヨク真実ニ參得主人公ノ話ヲト云ノ義也。抛却筆、喝一喝」云、着」甚廢ノ死急(ツカ)」。

徳山托鉢。代云、抛レ鈎ヲ心口在レ何ルノ処ニカ、自ラ在レ知音正明也。」私云、當則ワ、徳山老后ノ時分ノ」。

呈ニ、禪道佛法ノ間ダヲ以ツテワ、心得難キ。托鉢下レル」堂ヲトヨム、錯リ。堂二下ルトヨシテ、好キ。徳山ノ季ノ一ツモ若イ時キハ、走モナツタガ、早ヤ」七十二余リ八ナンニ及シテ、老イニホレタニ依ツテ、庫下ニモ下郎ズガ、鉢ヲ托テ法堂二下ダラレタ。爰ラニ何シテモ支ワ無イ。アレドモ、老徳山呈ノ人ガ、托鉢シテ方丈ヨリ」法堂エ下ツタワ、何ニサマ只タデワアルマイト、禪人ハ皆ナコツチヨリ見添エテ、眉アイヲシハ」(10ウ)メ、腸ヲモムゾ。処ヲ、雪峰ワ知音ナ呈ニ、見テト云ワ、老徳山処ヲヨク見届ケテ、此老漢、鐘」一去ルトサワツテ、徳山ノ処ヲ勘弁セラル、。爰ニモ別ニ立チ入ツテ、支ワ無イ処デ、徳山ハ兎」角ノ挨拶モ無ク、ソロリト方丈エ引キ籠マル、。爰ヲバ、雪上ガ霜亦一重ト着語ノ」ヨキ。雪峰モ岩頭ト同道底ナ呈ニ、徳山ノ処ヲ拳似シテ、亦岩頭ヲカナビイテ見」ル。アレバ、岩頭ハ大小一句ヲ、サバカリノ老徳山ナレドモ、マダ末后ノ句ヲバ心得ラレント云ガ、」一トヤスリ掛ケテ見ル。實ニ會センデワ無キ。末后ノ句ニヨク測底ト、岩頭モ」見届ケラレタレドモ、會セント云ガ、ナジリ落シ羊。是レモ徳山ノ実処ヲ驗ミンガ」為メ。処ヲ、徳山ハ、侍者ヲ以ツテ岩頭ヲ喚ビ付ケテ、汝不一那、マコトヤ、ヲ主ハ老」僧ガ末后ノ句ヲ會セント云ワレタト聞イタガ、何ント、殊ノ外腹立シテ、呵責セラル、。是レモ言中下一鈎、岩頭ノ処ヲ勘弁セラレタ」。

アレバ、岩頭ハ、徳山耳邊ニ依ツテ、」蜜ニ啓ト云ワ、何ニヤ郎密カニ云羊ニモテナシタ。梶原ガ鎌倉殿ノ耳ヲカイタ」呈ノ」。

サリナガラ、密ノ処ヲ、有言トモ無言トモ聞き届ケタ者ワ無キ。密ニ啓」スルガ、徳山末后ノ句ニ流通シ羊。爰デ徳山ノ休シ去ツタワ、岩頭密啓ガ趣」向デアルヤ郎、不趣向デアルヤ郎、何ントモラク端シノ知ラレント。三世歴代トモニ」難ニ弁取テ処。爰ラハ、從來疑着此漢ト着語シテ可。明日一不レ同、マズ明」日トワ、アクル日ノ」。

次日陞座デハアレドモ、棒喝ノ幾用モ無ク、拈丈豎佛ノサタモ無」(11オ)玄妙ノ商量ト云一モ無ク、只ダ何ントノウ吟ノ迄デヨ。処ガ、末后ノ句、測底。時、尋常」トハ、不レ同。此ノ陞座ノ羊体ヲ、ヨウ見届ケテ、岩頭ヲ僧堂前ニ趨出デ、ア、早」ヤ是レ迄デダ。ヲレガ坊主ハ、今マヨウ、末后ノ句ヲ、心得ラレタヨト云。爰ニ三ツテハ、天」下人モ難ニ分別キ処也ト云ガ、徳山ノ処ヲ拳揚シ羊。ヨク見届ケテ見サシマイ。何ン」デモ

アレ、一ハ無キ。代ハ、老徳山ノ老イニホレタ底デ、ソラダワケシテ、鉢ヲ持メ法堂」エ下ルガ、マズ深澤ニ向ツテ、直釣ヲ抛ツテ試ミ羊。如案、雪峰、岩頭ト云金鱗、「巨鼈ヲ釣り得タ一。宗門デハ、雪峰、岩頭如キノ活衲僧ヲ金鱗・巨鼈」ト云。雪峰、岩頭兩老トモニ徳山ノ為メハ、好知音ナ呈ニ、始中終トモニ徳山ノ処」ヲ、ヨウ勘破セララル、一。勘破スルガ、末后ノ句ニ測底。尊上座注破云、「古尊宿ノ下語ヲバ即且置、三大老相見之処如何甄別。代云、三更過鉄圍一、拶折蒼龍角一、寒山搖龍頭一、拾得拈掌一。」昨夜ト云ニ、弁処ヲ無イ、鉄圍ト云ニモ、方処ヲ無イ。昨夜三更ノ時分、鉄圍ノ岩角デ蒼龍ノ頭角ヲ折ツタヲ見テ、寒山ハ頭ベヲ振ツテ笑ヘバ、拾得手ヲ打」ツテハヤシタ。岩頭ノ密ニ啓セラレタヲバ、寒山ガ頭ベヲ搖セバ、拾得ガ拈掌シ」タト見羊ズ迄デヨ。頭ベヲ搖カシ撫掌シタト云ガ、徳山ノ処ニ流通シ、末后ノ句ニ測底羊。畢竟三老トモニ知音。無門頌、識得最一句。心ワ、ヨク一（一口ウ）叶ツテ見レバ、最初ガ末后ノ句、ト云ヘバ、夫コニ取りツク呈ニ、最初一句ニサシ放シテ除クル。拶云、恁麼時如何。代、咄々々、没処去々々々。」

南泉斬猫。代、放三開ノ向上ノ途轍一、撥轉一鬼家ノ無明一。争ニ猫児ト云ニ、サマ一ノ説アリ。然レトモ、山僧ハ、永平ノ格外集説ヲ證拠トシテ注スルナリ。争猫児ト云ワ、僧堂裡ニ猫ノ睡ツテ居タヲ見テ、前堂后堂兩堂」首坐トモガ、是レワ死猫児タゾ、イ、ヤ、活猫児タゾト、末ツ黒口ニ争ウ。処ヲ、南泉ノ「折リ節シ透リ合セナサレテ、猫児ヲヒツ提ンデ、手ニ提ケテ、片タ手ニ刀子ヲ拈メ於」イテ、何ント。爰ハ、死猫児ト見羊ズカ、活猫児ト見羊カ。何ツレモ死活ニ渡ラン」當頭ノ一句ヲ道イ得タラバ、此ノ猫児ヲバ助ケ羊ズ。サテ不ニ道得、切ツテ捨」テ羊ズト、俄カニ氣色大ウキニカワリ、殊一外カ荒レ立ツテ、噉噴ナサル。爰デ色アル」作家ガアラバ、呵々大笑シ走過スルカ、吠ト喝メ拂袖シ去ルカ、サデ無クンバ、飛ビ掛ツテ、「南泉ノ刀子ヲ奪却シテ、ジツト唯ニ本ニ推シ當テ、於イテ、マズヲヌシヲ云ツテ見サシ」ト一ト責メ一テ、ホカト托開シテ、飛ビノコウズ一タ。アルニ、ドレモ叶ワン。鷄老冠メラタニ」依テ、クツトツマツテ、口チデモアカズシテ居ル。真トニ淺間シイ、不便ナ一タ呈ニ、「南泉モ持チ合セタ刀子ヲ以ツテ、スツカト切ツテ、ナゲ出ダサル、ナリ。爰ニモ不斬斬ニモ、死ニモ活ツニモ渡ラン當鋒下ノ一句。是レヲ第一頭第一幾ト云也。故ヘニ圓悟一（12才）垂示ニモ、意路不到、正好ニ提撕一、言詮不及、宜急着眼トナサル、也。或イハ得失是非、一時」放却ト云モ、向ウ。晚日趙州ノ外カヨリ飯ヘラレタニ、昼ルノ仕合ヲ物ノ語りセラリ、ナリ。アレバ、趙州キタナゲナ草鞋ヲ一寸クト戴イテ出テラル、。爰モ草鞋ト見タラバ、戴カレマジ」キ。何

ニヲカ戴イツ郎。畢竟提処、當鋒戴鞋、トモニ第一頭、第一幾ノ拳処。趙老」戴鞋ノ働キガ、南泉ノ趣向ナニ依テ、空ク猫児ヲ切ツテ捨テタト云ワル、ナリ。」サテ、月江和尚ノ説ニハ、マズ猫児ト云ワ、業識ノ性靈デ、殺生斗リテ、一世送ラズ物」ノ也。如其納僧モ佛智・祖智ノ間ダラヌケテ、業識無明ノ猫児ノ肚裡ニナラ」デワ。爰ヲ知兀ノ道ト云へ。アレドモ、南泉ワ独超越物外ニタル人ナ呈ニ、痴兀ノ肌エヲモ」干要トモタン。猫児ヲ、ツ、ト切捨テタワ、向上ノ途轍ヲ放開シ、鬼家ノ無明ヲ」撥点シタ」ト云ワ、無明デ無明ヲ離レタ」ト云フ。異類ノ境界、畜生ノハイカンヲモ、」ツメテ見タル。爰ヲ物外ノ道ト云へ。尊上座註破云、於ニ一刀下ニ放開、途轍ヲ、」撥点スル無明ヲ処作麼生。代、今霄一輪滿テリ、清光処ニカ何レ無ケ。心得ハ、打落」當鋒下ガ、正當十五圓滿ノ夜景。卒度モ曇リ無キ。サテ、途轍ヲ放開シ、無」明ヲ發点スト云モ聞ユル。皆ナ知不知、斬不斬、是非、死活ハ、曇リノ間タ」ト云フ。曇リノ間タノ月キナラバ、欠ケ道チ。捨別了庵一派デハ、此ノ句ニ、大叟ノサ」タアリ。久參ニアラズンバ、心得難キ」ト云フ。野僧、此ノ句ヲ當鋒下無明發点」(12ウ) 熟語ニ用イタハ、何ツレモ了菴門戸ノ隙ヲ明ケラレテノ以后ニ、首尾ノ合ウ」ト云フ。無門頌云、趙州若在倒行此命」命。此ノ頌ハ、開無門ノ、趙州ニナゾラエ」テ、我ガカユガリノカキ羊。嗚々、其ノ時キ、吾ガアリ逢ウタ郎ニハ、倒」此ノ令ヲ行」ズベキ。マダ南泉ノ猫児ヲ斬却セン。以前ニシヤ刀子ヲヒンナグツテア郎ニハ、南」泉モ命ヲ助ケテ玉マワレト、手ヲスラリウズ物ノヲト云キ。撥」無門意旨」如何。代、開レテ」更ニ商量ハ、白雲千里。」

洞山三頓棒。代、昔錯」向」途中覓、今日看来ハ火裡氷。」取句、當時若不」レハ聽カ罵着」ルヲ、今日争」カ得」以テ慈悲、」サレヲ。私云、祖庭事苑」洞山守初、宗教大師嗣」雲門」トアリ。マズ世間ギテ、近離ト云ワ、今季ヤ去年」近離シ、今日ハ先月ニ近離シ、今日ハ昨日ニ近離シタル」ト云フ。サテ、爰デハ近離」ト云フ。ト、上ワ向キワ、今日ハドコヨリヲリヤト問ワル、ナリ。奥意ワ、背觸死活ノ離レ派ヲ問タ」ル」ト云フ。是レニ不限、雲門ノ家デハ、頭々物々ノ上ヘガ、近離」卒度モ根ヅカン」ト云フ。サテコソ、」新定ノ幾デハ。定ル処ヲ新ナ」ト云フ。此ノ心持ヲ以ツテ、洞山ヲ勘弁」ト云フ。申シタト云ワレタ。早レトモ、」洞山ハ心得ズシテ、只タ字面ニ取り付テ、查渡、ヤガテ此ノ猿渡リノ舟渡リヨリ参リ」申シタト云ワレタ。早ヤ爰デヒシト打ツ処ナレドモ、雲門慈悲ノ途リニ、夏中ハドコニ」ヨリヤツタト重ネテ」レヲ流シテ、垂示セラル、ルナリ。アレバ、マタ聞不」レ受シテ、湖南ノ報慈」(13才) 寺ニ夏中ハ堪忍申シタト云ワル、也。爰デハ、早ヤ打テクレタイ処チヤ。処ヲモ、雲門ハ慈悲」ガ過ギテ、幾時離レ彼ト、亦タ近離」旨ヲ指示セラル、ト云フ。爰デハ、洞ハ心得ズシテ、八

月廿」五日ニ報慈寺ヲマカリ出デ、走、ト云ワル、也。故エニ、雲門モ、放レ汝三頓棒、ヲノレガ」幾アル活キ者ノナラバ、六十棒呈、結縁ニ打ツテタレ羊スレドモ、中カク糞虫ノ羊」ナヤツ、棒ヨゴシテ、打ツテノ用処ハ許スゾ、ト云ワル、。直ニノリ掛ツテ打タヨリモ、病ミ」深イコダナ。爰デハ早ヤ心得ル処ナレドモ、チツトモ心得ズシテ、次ノ日子リカ、ツテ、昨」日和尚ノ六十棒呈打ツテクレタイトヲセラレタガ、某甲シニハ、何ンタル過失バシゴザア」ツタ。打ラレベキ罪過ハ覚ヘ走ント云。余リ叶ワンヤツバラ、己レガ錯リヲモ不レ知、非ニ」受ン心。処ヲ、雲門ワ、飯一去レ。己レガ江西湖南ノ間ダヲ、徧參ダトコイテ、往イツ」飯ツシテ、只タ振舞茶礼斗リヲ喰ツテ、ムダニ日ヲクラシテ、コロビ回ツテアツタナ。」アナマクライドウナ五穀ツブシメガト、シタ、カニ嘖嘖シテ呵責セラル、ナリ。聞カニヲ」ツ、メ責メツメ呵責セラレテ於イテ、於レ此ニ大悟ト云ワ、ヤレ向ウテアツケルヨト心」得ル。大活幾用ヲ發スル。代ハ、マタ叶シ己前ハサマ」二切ツクラベツ、アテガイ」斗ツテ見タハ、向途中尋子回ツタ呈ノ、半途ヲコロビ回ツタル。サテ、今日大悟」ト、ヨク皈宗穩坐ノ旨ヲ得ルガ、火里ノ氷リヲ見ツケタル。今日ト云ワ、當リ派ノ。大悟ノ日ヲ云。火裡ノ氷ト云物ワ、何ント羊ナ物デワアルヤ郎。良尊モ全ク」(13ウ) 知り走ン。月江和尚ハ御存知アツタガ、慥シカ月江サマモゴ御存知アルマイ。尊上座」注破云、如何是火裡氷。代、何ンデカアツ、郎、タワコデソコ。心得ハ、生」得火裡ノ氷ト云ハ、無イ。無イガ、火裡リノ氷リ。ドノ衲子モ一度ビ此ノ火裡」ノ氷リヲ見付ケデワ。ヨク叶ツテ見レバ、何ンデモ無イ物、タワコガ真ト。拶、請」呈二句。代、柔ヤカナルコトハ如ニ生鉄ニ、堅ハ似リ兜羅錦ニ。」心得ハ、堅如生鉄、柔似兜羅錦」ト云ウズガ、生鉄ヲヤワト云イ、兜羅綿ヲ堅イト云ハ、定相ノ無イ。ト云ワ、火中ノ氷リ」自性ノソソロヨ。心得ハ、本性ニサヘ叶ツタラバ、何ントナリトモ云イタイ羊ニ云ワデ」ハ。何ント云ツタリトモ、本位ニハツレタコハアルマイナ。無門頌云、獅子一ニ身無レ」端一深。私ニ云、捺別生ヲ得タ呈ノ物ハ子ニ迷ウ者。迷子ト云ワ、哀アワ子」タルコ、訣ト云ワ、秘訣ノ、一大叟ノ。世間儀デモ、如此。ナンタル一大叟大切ナ」ヲモ、子ニハラシユルナリ。身命ニ替ル呈ノ大切ナ叟ヲモ許ス者ノ。同ジ獸ノ内デモ獅」子ハ、トツトタケイ者ノ。故ヘニ子ヲ生ズ、早ヤ三日過クレバ、万仞崖ヨリケ落」踢テ落スガ、見ニ秘訣ノ教ヘ羊。擬前ト云ワ、飛ビ掛ツテ、母ヲヒツサイテ、クラウ」ウズキガイガアル。処ヲモ、跳躑ト云ワ、ホカト踢テ放ツ。処デ、早ヤク躡身ト云ワ、立子皈ツテ齒咬ミヲシテ、母ヲ睨」メ。如レ其ノ、雲門ノ洞山ヲボツ、メ責責メ」ツメ呵責スルガ、獅子見ニ教ヘ羊。哀見不レ知醜夏。処ヲ、洞山モ昨日蒙」(14オ) 処ト云ガ、前ミ

羊^{（様）}。アレバ、飯^{（飯）}去ト云ガ、重テ跳躑シ羊^{（様）}。懸崖^{（懸）}方勿ヨリケ落シ羊^{（様）}。爰デ大悟ガ早ヤク翻身シタ^{（様）}。ヒラリツト立チ飯ツテ、齒ガミヲシテ掛ツタ^{（様）}呈^{（呈）}ノ^{（様）}。無^{（無）}端^{（端）}一^{（一）}着、アノマクライドウナ五穀ツフシメガト云ガ、再ビ當頭ヲ^{（當）}叙^{（叙）}ベテ指示シタル^{（示）}。當頭着ト云ワ、肝要ノ旨ヲ云^{（旨）}。本分ノ一句ヲ云^{（本）}。放^{（放）}汝^{（汝）}一^{（一）}棒ト云ガ、前箭一ノ失ヲ以ツテ、洞山ノ只ダ中ニ射付ケタ^{（射）}。爰デモ十分ニハ透ント^{（透）}見タ呈^{（見）}ニ、亦次ノ日飯袋^{（袋）}一^{（一）}去ルガ、此ノマクライドウナメガト、関カニ呵責スルガ、後箭^{（後）}ノ^{（箭）}鏃^{（鏃）}リ、二^{（二）}失ヲ以テ、洞山ノ肝ノタバ子ヲ、ツ、ト射透シタル^{（透）}。胸ナ板ヨリ推シ付ケ^{（推）}進テヌケタ^{（進）}。ト云ワ、前箭^{（前）}・^{（箭）}后箭^{（后）}・^{（箭）}最初^{（初）}・^{（箭）}末后^{（末）}、一句一鏃ト心得ベシ。向ウミレバ、前^{（前）}箭^{（箭）}後鏃^{（後）}タツタ一筋シ^{（一）}。二^{（二）}タ筋^{（タ）}シ無キ^{（無）}。

雲門鐘声七條 代、如^{（如）}声^{（声）}渡^{（渡）}牆^{（牆）}風^{（風）}行^{（行）}空^{（空）}、了^{（了）}不^{（不）}拘^{（拘）}一^{（一）}碍^{（碍）}絶^{（絶）}羅^{（羅）}籠^{（籠）}。了庵代、松風ノ声ノ内ナルカクレガワ昔シモ今モ住ミヨカリケリ。識知^{（識）}ヲ能^{（能）}尽^{（尽）}スレバ、ドコモスミヨイゾ。如^{（如）}声^{（声）}渡^{（渡）}牆^{（牆）}風^{（風）}行^{（行）}空^{（空）}、不^{（不）}碍^{（碍）}拘^{（拘）}一^{（一）}絶^{（絶）}羅^{（羅）}籠^{（籠）}。私^{（私）}云、因甚麼ト云ガ、當行シ羊^{（様）}。虚空法界ノ渺々トノ極^{（極）}り果テモ無イカ、大^{（大）}乘^{（乘）}佛^{（佛）}袈^{（袈）}裟^{（裟）}。此ノ佛^{（佛）}袈^{（袈）}裟^{（裟）}ワ、只^{（只）}ダワ着セラレ^{（着）}ンゾ。衲僧ハ一^{（一）}ト度^{（度）}ビ時^{（時）}節^{（節）}ヲ以^{（以）}ツテ、虚空法界ヲ佛^{（佛）}袈^{（袈）}裟^{（裟）}トナシテ披^{（披）}在^{（在）}スル。雲門ハ、睦州門闥^{（闥）}テ折^{（折）}脚^{（脚）}徑^{（徑）}チ、廣^{（廣）}濶^{（濶）}タル世界ヲ佛^{（佛）}袈^{（袈）}裟^{（裟）}トシテ披^{（披）}在^{（在）}セラ^{（在）}ル。此ノ時^{（時）}秘^{（秘）}在^{（在）}シタ^{（秘）}仏^{（佛）}袈^{（袈）}裟^{（裟）}ハ、五^{（五）}（14ウ）十六億七千万歳ヲ經^{（經）}デモ、弥勒下生ノ時^{（時）}キ迄^{（迄）}デモ、終^{（終）}イニ朽^{（朽）}チズ、タ^{（タ）}レズ、敗^{（敗）}壞^{（壞）}サタ^{（サ）}ワ無^{（無）}キ。此ノ大^{（大）}乘^{（乘）}無^{（無）}相^{（相）}衣^{（衣）}ヲ着^{（着）}ノ見^{（見）}レバ、毎^{（毎）}日^{（日）}朝^{（朝）}暮^{（暮）}ノ請^{（請）}益^{（益）}ニ、鐘^{（鐘）}声^{（声）}ヲ聞^{（聞）}イテ掛^{（掛）}タル有^{（有）}相^{（相）}ノ七^{（七）}條^{（條）}ワ、タ^{（タ）}ワ^{（ワ）}。古^{（古）}ル茶^{（茶）}巾^{（巾）}モ一^{（一）}ツツ^{（ツ）}。呈^{（呈）}ニ、夫^{（夫）}レヲバ因^{（因）}甚^{（甚）}麼^{（麼）}カトツイテ除^{（除）}ケタ^{（除）}。代^{（代）}モ、雲門ハ折^{（折）}脚^{（脚）}下^{（下）}デ、無^{（無）}相^{（相）}大^{（大）}乘^{（乘）}ノ福^{（福）}田^{（田）}衣^{（衣）}ヲ披^{（披）}在^{（在）}シタ人^{（人）}ナ呈^{（呈）}ニ、声^{（声）}ノ牆^{（牆）}ニ碍^{（碍）}エラレズ、風^{（風）}ノ虚^{（虚）}空^{（空）}ヲ次^{（次）}イテ透^{（透）}ル如^{（如）}ク、卒^{（卒）}度^{（度）}デモアレ、欠^{（欠）}ケサワリガ無^{（無）}ク、轉^{（轉）}轆^{（轆）}々^{（々）}阿^{（阿）}鞞^{（鞞）}々^{（々）}、自^{（自）}由^{（由）}自^{（自）}在^{（在）}。時^{（時）}キ、絶^{（絶）}羅^{（羅）}籠^{（籠）}シタル^{（籠）}。尊^{（尊）}上^{（上）}座^{（座）}註^{（註）}破^{（破）}云、山^{（山）}僧^{（僧）}又^{（又）}如何^{（何）}得^{（得）}一^{（一）}ツツ^{（ツ）}。代^{（代）}、打^{（打）}レ手^{（手）}喝^{（喝）}一^{（一）}喝^{（喝）}ノ云、世界^{（界）}恁^{（恁）}麼^{（麼）}廣^{（廣）}濶^{（濶）}、因^{（因）}甚^{（甚）}麼^{（麼）}鐘^{（鐘）}声^{（声）}裡^{（裡）}披^{（披）}七^{（七）}條^{（條）}。心^{（心）}得^{（得）}ハ、一^{（一）}喝^{（喝）}ノ端^{（端）}の毛^{（毛）}、折^{（折）}脚^{（脚）}一^{（一）}直^{（直）}下^{（下）}モ一^{（一）}ツツ^{（ツ）}。折^{（折）}脚^{（脚）}ノ徑^{（徑）}チ、一^{（一）}喝^{（喝）}ノ端^{（端）}的^{（的）}、虚^{（虚）}空^{（空）}法^{（法）}界^{（界）}、大^{（大）}乘^{（乘）}佛^{（佛）}袈^{（袈）}裟^{（裟）}ヲ披^{（披）}在^{（在）}シタル^{（披）}。時^{（時）}、垢^{（垢）}ガ朽^{（朽）}チタル七^{（七）}條^{（條）}ワ、古^{（古）}ル茶^{（茶）}巾^{（巾）}デ走^{（走）}ゾ。拶^{（拶）}ノ云、与^{（与）}麼^{（麼）}時^{（時）}如何^{（何）}。代^{（代）}云、昨夜^{（夜）}東^{（東）}海^{（海）}ノ鯉^{（鯉）}魚^{（魚）}、吞^{（吞）}却^{（却）}ス南^{（南）}山^{（山）}ノ猛^{（猛）}虎^{（虎）}、驚^{（驚）}ニ得^{（得）}ニ文^{（文）}殊^{（殊）}普^{（普）}賢^{（賢）}、走^{（走）}ッテ入^{（入）}ニ堂^{（堂）}前^{（前）}ノ露^{（露）}柱^{（柱）}。心^{（心）}得^{（得）}ハ、大^{（大）}海^{（海）}ノ底^{（底）}ニ藏^{（藏）}レテ居^{（居）}タ鯉^{（鯉）}魚^{（魚）}ガ、跳^{（跳）}ツテ出^{（出）}テ、南^{（南）}山^{（山）}ノシゲ^{（シ）}ゲ^{（ゲ）}ニ^{（シ）}踪^{（踪）}イ^{（イ）}テ居^{（居）}タ猛^{（猛）}虎^{（虎）}ヲ吞^{（吞）}却^{（却）}スレバ、文^{（文）}殊^{（殊）}・普^{（普）}賢^{（賢）}ガ大^{（大）}ウキニ驚^{（驚）}イテ、面^{（面）}前^{（前）}ノ露^{（露）}柱^{（柱）}ハニゲ^{（ニ）}コ^{（コ）}ン^{（ン）}タ。ト云ワ、何^{（何）}ントアル^{（アル）}カ無^{（無）}イ^{（イ）}カ。アル^{（アル）}デモアル^{（アル）}ベシ、無^{（無）}イ^{（イ）}デモアル^{（アル）}ベシ。大^{（大）}乘^{（乘）}佛^{（佛）}袈^{（袈）}裟^{（裟）}ニサ^{（ニ）}ヘ^{（ニ）}叶^{（叶）}ツタ^{（ツ）}ラバ、何^{（何）}トモ云^{（云）}イタイ^{（イ）}俣^{（俣）}ニ云^{（云）}ウ迄^{（迄）}デヨ。天^{（天）}マヲサカシマシニ云^{（云）}イタイ^{（イ）}羊^{（羊）}ニ云^{（云）}タリトモ、偽^{（偽）}リ^{（リ）}デ^{（デ）}ハアル^{（アル）}マジキ。無^{（無）}門^{（門）}頌^{（頌）}、會^{（會）}則^{（則）}支^{（支）}同^{（同）}一^{（一）}差^{（差）}、會^{（會）}一^{（一）}差^{（差）}。心^{（心）}得^{（得）}ハ、會^{（會）}スルト云^{（云）}（15オ）ワ、此^{（此）}仏^{（佛）}袈^{（袈）}裟^{（裟）}ヲヨク^{（ヲ）}心^{（心）}得^{（得）}タル

「云門ハ、折脚下デ、此ノ仏袈裟ニ當着シタ時」キ、虚空法界、森羅万像、有情非情、トモニ此ノ仏袈裟ノ中タト見ル。時キ、」同一家デ自他一枚。サテ、不レ會ト云ワ、心得ンニ依ツテ、万別千差トナツテ、色口ノホリケガアツテ、隔リガアルゾト云ヘバ、亦會得ヲ肝要トスル。會得ヲ干要トスルガ、自己ト目前ト隔ツタ。思唯分別ノ無ク、領解ノ出テズ、不會時」キ、山河大地、無レ隔、自己目前タツタ一致。サテ、分別會得ガ出ズレバ、万別千差トナツテ、佛袈裟ニハ隔ル。畢竟無門ノ意地ハ、一途轍取リ付ク。処ヲ指シ放シ、モギ放シテタクル。殊ニ雲門一生涯ワ、釘鉸イヲ離レテ當行シタ。人ナ呈ニ、肝要ト持ツ処ヲ嫌ウ。是レワ雲門ニ不レ限、祖師門下ノ活法ハ、ドレモ」如此。恁麼ニ會スルモ亦三十棒。」

國師三喚侍者、^々三應意旨如何。代、不孝闍提人、不レ從^{スレ}父ノ規繩^ニ。取句、拳踢相應、心眼相照。無極古佛、國師三喚侍者意旨如何。代、三尺ノ靈光輝^キ夜月、一丈ノ秋水逼^レテ人ヲ寒。侍者三應意旨如何。代、滿タ引^リ弓射不着了々揮^レ劍截^レ無^レ恨。南陽光宅禪寺惠忠國師ハ、曹溪六祖大師法嗣。耽源侍者ハ、國師ノ(15ウ)法嗣。耽源ハ、寺号。諱ヲバ應真ト云。當則ノ説、サマク多シ。アレドモ、指シ出シテノサタワ、國師ノ三喚侍者デゴール。侍者ノ見地、達処ノ呈^レヲ勘弁シ羊。爰デ侍者ノ面ヲハラシテ、如何ニモ圖無イ底デ、ヨツクトミタビ應ゼラレタワ。バツクン國師ヲ目ノ下タニ見下ノ幾頭。此ノ老イホレ入定メガ、何ニヲタワヲツクヤ郎、嗚々、死ニ下ツタ老イホレメガト云心口持チ。一烈國師ヲ肯ワン幾。肯ンキガイガ、國師ノ骨髓。呈ニ、將謂^レ汝元來^レ吾ト云ガ、證明シ羊。印可ノ心持チ。國師ハ、侍者ニ不レ讓、亦侍者ハ國師ニタヨラン時キガ、元來辜負。代ハ、國師ハ云ニ不レ及、三世歷代ニソムキ切ツテ居タ侍者ナ呈ニ、五逆不孝ノ闍提人。卒度モ父ノ規繩ニ不レ從、先師ノ規矩法度ヲ守ラン。取句モ、師家ガハレバ、學者モハリ、師家ガフメバ、學者モフンタ。國師ガハレバ、侍者モハリ、國師ガ踏メバ、侍者モ踏シタ。時キ、師家、學者末ツツニ流通シタ。此ノ時キ、拳ノ踢相應テ片落シ。師家、學者、侍者、國師、心眼末ツツニ相照シタル。爰ヲ師學一般ノ句ト云。無極サマノ御代ハ、三尺ノ靈光ト云イ、一丈秋水ト云ワ、劍ノ。國師ノ目霞ヲヒツ立テ、ケワシク侍者ト喚ビカケテコールハ、三尺ノ靈光一丈ノ秋水ガ遙カノホツタト見羊ズ。國師ノ重代ヲ、侍者ノ末向ニ揮ツタ。亦滿々弓引テ放ツタガ、侍者ノ処エワ箭ガ不レ届、振リ上ゲテ丁ト切ツタガ、刀子(16オ)ノ刃バモ立ン。捨別トツトノ丈夫底、ケナゲナル者ノ、夫ニハ、失モ不レ届、刀モ立ン者。尊上座詩破云、三喚三應意旨如何。代、不^レ因^レ霜雪力^ニ争^カ知^レ松栢^ノ操^ル。」

心得ワ、春夏ノ間ダワ、万木トモニ緑リヲ生ノ、ミサヲナニ依ツテ、ドレモ諛訛ガ見エン者^レ。

「サテ、冬天ノ時分、一ト霜ニタ霜モ下ロス処デ、余ノ千草万木ハ、悉クシヨレテ、ハラリ」ト落尽スル。其ノ時キ松柏ノ意旨ガ露ル、ゾ霜雪ニ蔽シクモマル、呈^レ下、ナヲモ」色ロガ操ヲニシテ、アタリヲ拂ツテ意旨ガ見ユル。向ウ見レバ、霜雪ノ刀メガ無」クンバ、松柏ノミサヲナル「ハ知ラレマジキ。其ノ如ク、国師^三度ビ迄テ蔽シク喚」ビ掛ルガ、霜雪ノ刀メガ爰デ卒度モ動点セズ、驚カン氣色デ、三度ビ應ジタワ、「松柏ノ操ヲナル色ヲ以テ、出デタ呈^レ方^ニ。南陽山ノ霜雪ニ蔽シクモマル、呈、卒」度モ変色ガ無ク、ナヲモ操ナル「。ト云ワ、ツ、トス子切ツタ氣性ヲ云。ス子切ツタ氣」性ト云ヘバ、亦未得諱證ノ沙門ハ、小丘ノ土ズ子タ羊ニ心得ル。何ニガ走デハア」郎ズ。祖師下デス子切ツタ、在分面ヲ魂シイト云ワ、天真ノ自性ヲ識得シ、直指」單傳ノ心印ニ當的シタル人ノ「。云、如何是元來辜負処。代、心徑」若生。心得ハ、心ハ深ニデ、心徑ト云ハ、深山ノ奥クノ、人モ通ン若ケノ下路ノ「。宗門デ若ケノ下路ト云ワ、ドコノ「デア郎ナ。爰デ、若ケノ下路チヲ「ナ郎ニハ、(16ウ) 参去参來客ハ、云ニ不^レ及、釈迦モ達磨モ知ラン処。摠別月江派デ、若ケノ」サタヲ三処デスル。就^レ中三処ノ若ノ修行ト云「ヲ、密山派デ秘スルナリ。学人」分上デ難^レ知「。那時向上ノ若ケノ下路チヲ云処デ、元來辜負ノ田地ト云」「ヲバ心得ベキ。辜負ノ田地ト云ワ、弟子ガ坊主ヲ不^レ知、坊主ガ弟子ヲ知」ラン処口ナリ。君臣合処正中邪ト云モ、爰ノ「。人平不^レ語、水平不^レ流ト云モ、一ツ修行」云、心徑若生ヲ。代、師ヲ背后ニノ只タ坐ス。心得ハ、生得ナラバ、爰ヲ」ニハ手ヲ不^レ付シテ、當寺開山^ニ御問イ走エト斗リ云テ置キタイ処ダ。アレドモ、」何ツレモ心得ノ為メナ呈^レニ、脱白露成ニ記^レ之者^レ。無門頌云、鉄枷「。擔「一闕、欲得「一刀山」心ワ、鉄枷トハ、頸カセ。耽源侍者モ国師」ニ見ルガ、早ヤ頸カセノ付イタ「。吾ガ累イモ蒙ツタ斗リデワ無イ。其、累イガ、」児孫迎ニ到ル迄テ殘テ、人ヲ惱乱スル。耽源侍者モ宗門ノ物ノ主シト成」リ、法幢ヲモ立ツシ羊ナラバ、今ノ分デハナルマジキ。チツト真正見解ノ師家ノ」當行下エ飛ビ入テ、悪棘ノ鉗鎚ヲ受ケ、劔樹刀山エ上ル呈^レヲロトシイメニ」逢ワズンバ、シキ「ノ物ノニハ成リ難イト、闕無門ノ侍者ニ異見ト云ワ、侍者ノ処ヲモ削リ落ノ、国師ノ処ヲモ推シタ「。仲居益頌云、南陽」三喚太無端、六月無風徹骨寒、一把柳絲収不得、和風塔在玉」(17オ) 欄干。普灯^レ録ニ在之。南陽国市中申ノ、大徒ヲ尊体ノ、何ノ「モ無イニ」マエズミヲ引ツ立テ、烈クシク侍者「ト高カラニ喚ンデコールハ、六月大」土用ノ内チナレドモ、コリツマツタル「。寒毛卓豎スル物ノ斗リヂヤ。爰デ三ビ」應諾シタ、侍者ノ風情ヲバ、何ント見羊ズ。一把「和風「一干」。

洞山麻三斤。代、塵々殺々芭蕉雨、落々村々楊柳「風。又、古人端的無_レ人_ノ會_ル、南北東西不_レ合頭_セ。」私云、此ノ僧ノ一問ハ、何ニサマ無_レ更_テハ無_レイゾ。句裡_ニ呈_レ機劈_面ニ來_ル杯_{」ト云}羊_ナ心_得。呈_ニ、圓悟ノ碧岩集ノ着語ニモ、鉄_ヲ蒺藜_ハ、兵具_{。此ノ僧ノ佛ト問}タト云テ、何ニガ達_{」路}ナ_」デハアルヘシ。此僧一問ノ幾_ハ、洞山ヲ取テホリケニ落ト走_又幾_{。亦洞山モ俗}「俐_ナ作家_ナ呈_ニ、麻三斤トナゲ合セタ。言中ニ点身、自由ヲ得_ル活_レ幾_用」ヲ露ス。爰ヲ圓悟モ談_モ無味ト批判ナサル、。捨別當則ヲ、上代ニモ錯ツ_」テ色口_」ニサタシタトアリ。洞山ノ庫下ニアツテ、麻ノミヲ斗_ル次_デ、此ノ僧ガ問_タ「ニ依ツテ、則チ麻三斤トナゲ合セタト云モノモアツタ。夫レモ早ヤ齒ニヌカツタ_」。亦東ヲ問_ハ、西ヲ答_エタナド々、道_リヲ付_ケ、倚_ツテモ付_カン、會_却シテ句_面ヲ_」(17ウ)ニ云_タ者_」モアツタ。皆ナ夫レハ、ムダ_」ノ邪解_ダト、圓_語ハ云_ワル、。代ハ、只_タ洞山ノ口_」ニ出_ツル_」俛、麻三斤ト没_滋味_ニキツテ放_イタワ、芭蕉ニ雨メノハラリツト降_ツル如_ク、楊_」柳ノ風ノサツト吹_イテ透_ツタ如_ク。爰_ラニサマ_」ノ理路_ヲ付_ケテ云_ワ、ホダレ_」ノ下_」ツタ_」。取_句モ、爰_デ古人_ト云_ハ、洞山_ノ「_」。麻三斤トナゲ合セタ端的_」ヲ心得_」タル者ノハ無_キ。東西_デモ南北_デモ、合_点シタル者ノハ無_キナリ。端的_ト云_テ、荒_」ライ_」デハ無_キ。佛_麻三斤_」端的_」チヤ。扇子_ヲ取_ツタモ端的_」、楊_枝ヲ取_ツタモ_」端的_」。衲_僧十二_」時_」中_」端的_」デ_」ノウ_」デハ。尊_上坐_」註_」破_」云_{、洞山老}「_」漢_{十二}時_」作用_」作_」麼_」生_」。代云_{、可}憐_」三尺_」龍_」泉_」劍_」、喚_」作_」陶_」家_」壁_」上_」。梭_」。心得_ハ、マズ洞山_モ雲_門ノ炬_」輪_」裡_」、鉗_」錘_」下_」デ、生_」マ金子_」ノ間_」ダヲ_」一句_」ニ扣_」キヌカレ、キタイヌカレ_」タニ依_」ツテ、鑊_」、竜_」泉_」飛_」フ劍_」ギトナツテ、卒_」度_」サワ_」ル_」ニモ_」キル、。夫_レヨリ三世_」歷_」代_」トモニ魂_」飛_」ヒ、膽_」喪_」シ、ツガイガ離_」レ、天_」」下_」人_」ニ運_」氣_」ノツ、イ_」タ者_」ノハ、一人_」モ無_」キ。アルガ、早_」ヤ其_」ノ威_」氣_」鋒_」鈍_」モ呈_」無_」ク_」一_」尺_」キ、刃_」バモコボ_」レテ、尽_」クサ_」ビガウ_」キ、朽_」チ切_」ツテ、影_」モ無_」ク形_」チモ無_」イ底_」タ。只_」」夕_」壁_」上_」ノ梭_」トナリ、ソコ飯_」ベ_」ラナド_」ノ羊_」ニ打_」チナ_」ツテ居_」タト云_ワ、ヲクソ帽子_」ヲ_」カ_」ブツテ、庫_」下_」ノスミ_」ニカ、ン_」デ、頭_」上_」ニワ青_」灰_」三五_」斗_」呈_」タキ_」カ_」ブツテ、ス_」子_」ア_」ブ_」ツテ居_」タ処_」ヲ云_{。爰}ガ、一句_」下_」ノ熟_」処_」、末_」后_」ノ句_」溷_」底_」ト云_テ、只_」」タ一句_」ノ無_」更_」ノ_」「_」(18オ)ハ無_」キ。如何_」是_」佛_」ト_」タウ立_」チノ時_」分_」、霹_」靂_」ノハツ_」チト_」畏_」ク_」ダ_」デシヤ、麻_」三_」斤_」ト_」槩_」。問_」デ、ヒツカトスル_」コソ遲_」ソケレ。ス_」ワ雷_」声_」ニ和_」フ飛_」シ_」デ、天_」ニ上_」ツタ。ア、油_」断_」ノ無_」イ_」「_」ダヨト云_ワ、死_」処_」末_」后_」ノ句_」ニ沈_」シ第一_」幾_」。云_{、其ノ句}ヲ、洞山_」答_」処_」ニカ_」ケ合_」セ_」テ説_」破_」セヨ。代云_{、麻}三_」斤_」ト、舌_」頭_」、竜_」泉_」劍_」ヲ吐_」キ出_」ス_」処_」デ、是非_」ノ理_」路_」ハ_」キレ_」テ走_」ウ。心_」ワ、捨_」別_」爰_」ニ_」不_」限_」、ド_」コ_」デモ吹_」毛_」ノ劍_」ダ、竜_」泉_」劍_」ダ、金_」剛_」三_」宝_」。劍_」夕_」杯_」ト云_ワ、是_」モ

切レ非モ切レテ、卒度マトワラズ、碍リ無イヲ云フンガ為メ。瀉」山有句ノ頌ニシタ時キモ、此ノ心得。瀉山笑中ノ刀子、舌頭ノ竜泉劔デ、有」句モ切レ無句モ切レタル。少シモ有無ノ兩頭ニヒツカ、ラス、カケ碍リノ無キ。摺云、舌頭ノ竜泉劔作麼生云。高声云、麻三斤。無門頌、突出麻三斤。是非人。私云、發端ノ句ガ干要タ。急ニ着眼ヲ看ヨ。勸声云、突出ス麻三斤迄デヨ。此ノ時キ、言モ親ク意」モ親シイ。親シイト云ニ、句面ワ云ワレテコソアルニ、来ツテ是非ノト理路ヲ付ケテ」サタスルコソ、是非ノ人ヨ。摺、頌意作麼生。打地一喝云、切ニ忌道着」スルヲ。

平常心是道。代、本色ノ衲僧無喜識、一箇ノ閑人百花新ナリ。」云、當則ヲバ指シ出シテ、月江四派デハ、道ノ端的、道ノ弁処トサタスル話頭。端的(18ウ)ト云ワ、道ノ入処ノヲ。弁処ト云ワ、道ノ徹処ノヲ。端的デ、端的ハ知ラレシ呈ニ、夫コヲサマシ」テ、ヤレ向ウデアツタヨト心得ルガ、弁処、徹処ナリ。平常ノ心ト云テ、初メヨリ一向ニ生レナ」ガラノ迷妄ノ腸デ居タ」デハ無キ。返常合道ト云ヲ以ツテ、心得デハ。常デ常」ヲ離レタ時キガ、道。処ガ、平常心。捨別平常ノ入リ派ト云」ガ難ニ心得。物」ノ心持ガ、アノ農老ナドガ終日田ヲ耕スガ、田ニトツクト打ツカレテ、アラ勞ビレ」ヤト云テ、ノケニ倒レ、樵夫ナドガ、一日柴ヲ切ツテ、シタ、カニ負テ、山ヲ下ルガ、踏ミハ」ヅシテ、ホカト谷ニ底コナドエ、コロビ落ちタ只チガ、平常ノ入リ派、道ノ端的。叶」イ派デ、吾レ叶派ト知ラシ」テ。農老・樵夫デ、農老・樵夫ノ腸ヲヌケタ。亦大ウ田ノ道觀ガ、折リ節シ、冬ノ時分シ越生ノ入リエ、猪子獵リニ入ツ」テ、竜穩寺エ寄ツタ。泰叟ノ火鉢ニ、炭ノ火ヲ活ツト起シテ出ヌコール。便泰叟」モ、道觀モ、手ヲアブツテ雑談アル。道觀ガ云イ羊ワ、和尚エ申ズ道ノ入処ト云」バ、何ント心得申走ズ。処デ、泰叟ノソバニ白ラ紙ガ一枚アツタヲ取ツテ、活ツ」起リ立ツタ、火ノ中カラ、ツイトヒキ透シテゴールニ、其ノ白ラ紙ガ、毛筋ジ呈トモ不」燒、フスボリモセナンタ処ヲ見テ、道觀ガ道ノ入処ト云」ヲ心得。サテ、ヒキ透シ羊ガ、一甲斐無クンバ、白ラ紙ミニ火ガツクベキ。引キ透シ羊ガ、トツト急切ナニ依ツテ、」卒度ソ、ケメガ無ク、元トノ白ラカミテ居ル。州ノ云、還可趣向也ト云ワ、何ント此ノ平(19オ)常道ト云ワ、参得シテ心得申走ウカ、アレバ、泉云、擬向即背、参得シテ心得」羊トシ、アテガイ斗ツテ承當シ羊トシタラバ、早ヤ平常ノ道ニハ、十万八千里隔」ツタ」ヨトヲセラル。州云、不擬争知是道。マズアテガツテ見、参得シテ」見ズンバ、平常道ト云」ワ、心得ラレマジキガ、何ントシテ走ハラセラル。アレバ、南泉ハ、」此道ト云ワ、知ニモ不知ニモ不屬、知不知ヲ離レタトヲセラル。サ

テ、知ト云ハ、学得底」ノ知見解會ヲ云。夫レハ、妄リニ覺タリ。不知ト云ワ、經律論ト云ノ差別ヲモ、不」記得愚痴（三）昧（三）迷徒ヲ云。不知妄覺無記ノ兩頭ヲ離却シタ処ガ、真達」不疑ノ道。此ノ不擬ノ道ト云ワ、大虛法界ノ廓然トノ洞額タルガ如クニ、卒」度モ是非ノ針リガ不掛、碍リ無キ。如此ヲセラル、。南泉ノ言下デ、趙州ワ、頓悟」。頓悟ト云ガ、干要。頓悟ト云ニ、得法ゲナリハ無イゾ。」代ハ、平常道ニ叶ツタ時キガ、本色ノ衲僧。是レヲ一箇ノ閑道人トモ云。本色ノ衲」僧、無妄道人ニ、喜識ノサタハ無キ。サテ喜識ト云ワ、得法ヲ干要ト守ルガ、喜識」。其ノ喜識ヲ脱却シタ時キ、閑無妄ノ道人、本色ノ衲僧。此羊（種）ナ人ノ胸懷ハ、百花新ニ迄デヨ。春ルノ百花、秋ノ月色トニツ無キ。是ヲ齊下デハ、活境界」ト云。道人ノ胸懷、末后ノ句洩底ノ処ヲ云。尊上座注破云、返常合道」時如何。代、大咬（三）熱（三）油銅（三）。心ハ、油ヲ皿ヲマツカニヤキスマシテ抛ケ出ノ（19ウ）処ヲ、犬ガホカトカミ付イテ、ワツト云テ、振ルイ捨テニ逃ゲタリ。犬ト云モノワ、業識」無明ナリ。マツカニヤケテアル油ヲ皿ヲニ、シツト咬ミツイテ、ワツト云テ、飛ビノイタ処ワ、業」識（三）業識ヲヌケタ、無明（三）無明ヲ離レタリヨ。爰ヲ以ツテ返常ヲ合道ト云ヲ」バ、心得ベキ。常子（三）テ常ヲ離レタリ。処ガ、道。道ニ叶ツタガ、元トノ腸タデ居タ時」キガ、平常ノ道。快菴派デハ、道ノ端的、道ノ入処ト云ヲバ、向ウ心得ル。平常」ノ入派ト云ワ、入り派ヲ知ラン。法眼宗（三）デ田舎ノ自己ト云ヲ、此ノ羊（種）ニ心得ル。大夏」ノサタ。久參ニアラズンバ、難會者ノ。無門頌、春有百」節。云、「春」花。打レ手アツ秋有、拍レ手アツ夏有、拍レ手アツ冬有雪、打レ手」アツ若無、春有間」節。マタモ不審ナラバ、行イテ開無門」問ワシマイ。」

大力量人。代、虚空一声（三）は何ニ物（三）、閉シ眼ヲ傾（三）耳裡（三）難（三）明（三）、へ開口不在舌頭上。代、四更山吐（三）月（三）。」私云、松源和尚ハ、楊枝八世ノ孫、密菴ノ法嗣。マス大力量ノ人ト云ワ、大人。上有頂天、下モ金輪水際迄デ、此ノ人ノ力量デ柱ヘタ時キ、足ヲ擡グベキスキガ無キ。須」弥山ヲモマツゲニ引ツカケ、四大海ヲモ爪マサキニハサンデ於イタドコカ大力量底ノ手」脚ナラザル処ガアツテコソ。永平格外集ノ説ニハ、如此心得ル。亦開無門ノ時」キハ、當則ヲ取ツテ載セラレタ心持チ、別。大力量底ノ人ト云ハ、師家ノ接処（20オ）下デ、背觸死活ノ兩頭ヲツトケ放シ、鉄関鉄門ヲクツト踏ミ破ツテノケタ時キガ、大力」量底ノ人。其ノ直下ハ、地獄天堂トモニ、タツタ一足ニフミツメテ於イタ呈ニ、別ニ足」シヲ擡ゲ起スベキ処ガ在ツテコソ。此ノ時、吐キ出ノ活句点語ヲバ、鼻下ノ口」裡ヨリ出テズ、只虚空ノモツト吼エ、露柱ノワツト呼ンタ如クナ呈ニ、舌頭トニワ」アランゾ。或イハ活句下ノ承當ト云モ、爰ノ。

代ハ、最初入頭ノ径チハ、虚雷「ガワツト呼ビ、灯露ガカラク」ト笑ツタ迄デヨ。其コハ何ニ物ゾ「デ、眼コモ不レ及、」耳モ届カン「。大力量底ノ活句ハ、鼻下ノ舌頭ヨリ出デン呈ニ、只タ三更」四更ノ時分、山ガ月ヲ吐キ出ノ如クヨ。如何ニモサヘ切ツテ、キレイナ舌サキ。尊上「坐注破云、不レ躡前蹤、如何見ニ大力量底人」ヲ。代云、徐行蹈断ス流水ノ声、」縦マニ觀テ寫シ出ス飛禽ノ跡ト。心ハ、大力量底ト云テ、ヲソロシゲナ仁王ナトノ蹈ンバ」ラツタ用ナ「デハ無キ。如何ニモ静カニ歩行シタ足本ヲ以ツテ、流水ノ声ヲモ蹈断」シ、四大海ヲモ蹈躑シタ。亦等閑リニ開イタ眼底ヲ以ツテ、虚空ヲ翔テ透ツタ。飛禽」ノ跡ヲ觀出メト云テ、意路ノ出テズ、伎倆ノ出テン人ノ「ヨ。此ヲ大力量底人ト云。云、其ノ句意地ヲ。代、大休歇ヲ得タル衲僧ノ作用デソロ。心得ハ、大休歇地ニ至ツタヲ、無為無度底ノ人トモ云。一代ノ大ウビマヲ明ケタ人ノ「ヨ。無門頌云、」擡脚「海、低「一天、一个「一着、一「一句。心ハ、擡脚「海ト云ハ、」(20ウ)脚下ヲアゲテ、金輪際無間獄底迄モ、クツトフミ破ツテ除ケタ。此ノ脚根下ガ、其ノ「俣三十三天ノ頂キヨリ遣カノ頂キナ呈ニ、四禪天ヲモ目ノ下ニ見下ノ「。渾身ト云ワ、」全身ト云心。大力量底ノ人ノ全身ハ、展ル時ンバ、大千沙界ニ放滿シ、虚空法界」ニセメフサガツテアル物。亦縮ル時ンバ、方寸ノ内チ、芥子ツブノ内ニモカクレテアル物ノゾ。呈ニ、無処着、尋覓シテモ難得者ノ。此ノ外カニ何ントモ可道ハ無イ呈ニ、請」統一句ト云テ於イタ迄デヨ。手ノツカン「。]

雲門乾屎橛。代、汚心「截断ス黄河ノ水、風ハ吹ニ溪雲」大虚明ナリ。私云、當則ナドニ句面ハ無キ。麻三斤ナドノ類。只ダ口ニ任セテ吐イタ」マデヨ。是レニ不レ限、雲門一生涯ワ、露柱ガ呼ビ、灯露ガ笑ツタ如ク。代ハ、雲門」ノ口ニ出ツル俣、乾屎橛ト切ツテ於イタワ、黄河ノ水ノトツト漲ツテ出デタ如ク、」アリトアラユル塵リ芥ヲ、クツトヲシ流出シテノクル。亦大虚ヲ風ノ吹イテ透ル如ク、」末ツ黒口ニ覆ツタ雲霧ヲモ、ズイツト吹キ拂ツテノケタ「。活水ト云モ、繫留」無ク、清風ト云モ、滞在無キ物ノ。如其雲門ノ十二時ハ、新定「幾デ働イタ。」学人ノ釘鉸イニマトワル処ヲモギ落トシ、ヒツ放ナシテ捨テ、定ル処ヲ新メタ。」時キ、ドツコモ繫留滞在無キ。尊上坐注破云、雲門舌頭作」麼生。代、頓余無覚、空処發言。心ハ、ドコデモ頓ト云ガ、干要。雲門一生」(21オ)涯ハ、頓余無字デ、所解所得ハ無キ。只ダ平生物ヲセラル、ハ、虚空ノ吐キ出ス如ク、」鐘ノ響ク如クナリト云ワ、折脚ノ径チ、一句ニ雜毒ヲ打チマゲテ、爰ガ虚空ナドノ」如クニ打ナツタニ依ツテ、高ク喚ベバ響テ、低ク喚ベハ、低ク響イタ。夫レ「」ニ随ツテ響イタ「。無門頌云、閃電「一蹉過。云、此ノ頌ナド」ニ句面ヲ云ワ、ヲカシイ「。佛乾「一橛。電光」ヒ

ツカトノ迄デヨ。撃石火、「サツト飛ンタマデヨ。サテ、卒度モマジロクカ、目バタキモシタ郎ニハ、早ヤ十万八千スリ」チガウタヲヨ。」

迦葉利竿。代、心々傳底亦々何^ニ更^マ、燃灯世尊「不^レ知^ル処^ヲ」。私云、阿難尊者ハ、天竺王舍城ノ人^ニ。姓ハ利帝利、父ハ斛飯王^{コッパン}。亦阿難ヲ「喜トモ云イ、觀喜トモ云^レ。世尊ノ成道ノ夜、誕生ナリ。故ヘニ多聞傳達ニ^ノ智^ヲ」惠無礙^ニ。世尊金襴衣ヲ請ケ取ツテコーレドモ、金襴衣ニ用^ル処^ヲ無キ^ニ。只タ正法^ニ直傳ノ證拠^ヲ為メ斗リ^ト見レバ、其ノ袈裟ハ入ツテ不^レ入者^ノ。サテ、其ノ金襴衣^ノ外ニワ、別ニ何^{ナル}物ヲ流傳アツタゾト云ワ、以心傳心ノ旨^ノヲヨ。是レヲ別傳ノ眼^ト云^レ。別傳ノ旨ト云ハ、阿難ト喚^ババ、アツト應^エタル物^ノ、^トヨ。此ノ別傳ノ一句ト云ワ、不說不聞^ノ処^ヲ呈^スニ、門外^ノ利竿ヲ倒却セヨトヲセラル、^ニ。示衆說法^ノ時キ、^ニ（21ウ）^{聞^ル前^ニ}二幡ヲ立^ル。阿難ヨツ、爰ハ說示說得ニ落^シン^ニ呈^スニ、說法ノ利竿ハ倒レタ^トヨ。亦一說ニハ、金襴衣^ノ外ニワ、別ニ何^{ナル}物ヲ流傳アツタト、大我慢ノ鋒^ヲ露シテ、迦葉ノ処ヲ探竿セラル、^ニ。迦葉ハ、正法眼藏順熟ノ人^ヲ呈^スニ、卒度モ「爰ニ我慢^ノ幾^カ無ク、内外平穩ニ^シ、只タ阿難トヨシテコサール。喚^バレテ、只阿難ハヨツト答^ス」テコー^ル。ヨツ、以心傳心、別傳旨當^ル。呈^スニ、倒^ル竿、其ヲヌシガ我慢^ノ幡竿^ヲ引^キ倒^ラシテノケヨト、ヲセラル、ナリ。此ノ說モ最モ可^シ。

代モ、以心傳心ノ処^ヲ、過去^ノ燃灯、今ノ世尊モ不知^ル。三世ノ諸佛モ、歷代ノ祖師モ、天下ノ老和尚モ、此ノ良^シ尊モ、不知^ル。デ置^ク。不^レ知^ルノ時ガ、嗣續傳底^ニ。尊上坐注破^云、喚應諾^ノ一句ニ^テ来^テ看^ム。代、良尊ヨツ。心ワ、良尊ト喚^ババ、ヨツ、涅槃妙心當^ルノヨ。爰ヲ教外別傳^ノ旨ト云^レ。云、請^ム一点語。代、「銀椀裡盛^ル雪^ヲ。心ワ、喚^ババ、ヨツト答^スヘタワ、天然^ノ境界^ヲ呈^スニ、卒度モ暖氣^ガ無ク、交^リ物^ガ無キ^ニ。処^ガ、別傳^ノ一句、以心傳心ノ旨^ニ。當則^ヲ當世新婦子^ノ老婆子、猿樂和尚達^チノ別傳^ノ一衣^ハ、何^{ント}、云^テ、喉^トヲゴツ^クト鳴^ラサル、ナリ。更^ラニ分別^{不^レ申}ギ^ニ。マズ本則^ノ上^ヘヲモ御郎^ゼイ。金襴^ノケサヲ傳外別傳^ニ此^ニ甚^ク麼^カトアル。マズヲヌシ達チモ、吾レト合点シテ御郎^ゼイ。外ト云^イ、別ト云^ワ、金襴衣^ニ用^ル処^ヲ無キ^ニ。早ヤケサノサタヲバ、拳^ゲテ取^ラン^トト云^ワ、自己^ノ見性發明^ノ旨ヲ指シテ（22オ）一問^ナサレタ^ト。無門頌[、]問^ル処^ニ親^シ、幾^人ノ筋[、]兄呼^ブ醜[、]不^レ一^ニ春^ム。」云、阿難^ノ打頭^ニ、傳金襴^ノ外^カ、別傳^ノ麼^カト、一問^ノ言中ニエズイ幾^カアル。サテ、迦^ノ葉^ノ、阿難トヨシテコー^ル処^ハ、何^ンデモエズイ幾^カ無キ^ニ。只タ阿難迄^デヨ。処^ガ、親^シ」イ答^ル処^ナリ。此^ノ答^ル親^シキハ、何^ゾ如^シ阿難^ノ一問^ノ幾^ト一ツ^デハ無キ^ニ。喚^ビ應[」]諾^ノ処^ニ六^ツケシ^イハ無^イ。アルヲ、許多^ノ人^ガ錯^ツテ、

皆ナ眼コニ筋ジヲ生ジ、角ヲ」立テ、何ントモタ道リデア郎ズト、コチヨリ見添エテ、六ヶ敷見ル。兄ト云ワ、迦葉、
「弟ト云ワ、阿難ノ」。喚ベバ、ヨツト應ジタワ、家醜ヲ外カニアゲタ。家醜ト云ハ、「干要旨ヲ云」。家醜
ト云イ、別ニ是レ春ルト云ワ、一ツ。却外、春色ノ。此、却一外、春ヲ指シテ家醜ト云。阿難ト喚バ、ヨツ、却
外ノ春。陰陽ニ属セン春ル。畢竟、別傳ノ旨ノ。思善不思惡。

代、誰見レカ虚空ノ夜ノ点頭スル。取句云、枯枝頭上ノ雪、不レ待ニ太陽春。マズ當則ハ起リガ大途ナ
ル。六祖能大師ハ、姓ハ盧氏。名惠能、新州嶺南人。五祖弘忍大師ノ法子。六祖ヲ盧行者トモ云。是レ盧
氏ナル故ニ云。初メ、惠能和尚見五祖弘忍大師、碓坊ノ行者トナツテ、吾ガ身ノ輕キヲ、ナラ恨ミテ石シ。ヲ腰シニシ
テ、朱ヲウスツク。然レドモ、入室參請スルニ、昼夜不レ怠、已ニ及ニ。八月、忍大師、其付授時至ルヲ知
ツテ、各自所得ノ処ヲ呈セヨト、七百餘衆ノ中チエ、偈ヲ請イ玉ウ。時キ、衆中ノ上坐神秀首座、以偈壁上ニ推ス
。其、偈云、身是菩提一樹、心如明鏡臺、時々力拂拭、莫惹塵埃。弘忍大師見此偈云、後代依此修行得勝
果ト讚歎シ玉ウ。後惠能和之云、菩提本無樹、一明鏡亦非臺、本來無一物、何有塵埃。忍黙トノ識之ト云ワ、兎角
ノ。ヲモ云ワズ、心ノ中チニハ、此ノ偈ニマシタルハアルマジイト、バツクン神秀ノ偈ニワ増シタ、ト思シ召シタ
レドモ、マズ計リニ偽ツテ呵ノ云、亦未見性、マダ一向ニ自己ノ見性ヲ能クモ心得ントヲセラル。此ノ言バワ、
七百ノ高僧共ガ真ト、思イハリヌカル、ナリ。其、夜、忍大師碓坊ニ詣ノ問ツテ云、米白シヤ未シヤ。惠能云、米白
未レ有。忍大師、於碓以杖三撃之。心ハ、三敲。三敲ハ、三更。三更ニ入室セヨト云ノ心口持チ。六祖モ
是レヲ心得テ、三更ニ入室ヲ、正法眼藏、無上ノ道ヲ流傳シ、其ノ證拠、達磨以來、屈珣、伽黎ト云法衣ヲ請取ラル、
ナリ。忍大師、是ヲ七百高僧ニカクシテ、六祖ヲ夜半ニ同道アツテ、嶺南ニ送ラル。処ヲ、彼ノ神秀ヲ初トシテ、
七百餘人ノ惡僧、大我」慢ヲ起シテ、此ノ行者ヲ推ツカケテ、カラメ取ツテ、一大叟ノケサヲ取り返サント、詮」義シ
テ、明上坐ト云大力量ノ惡比丘ヲ、七百餘人ノ中チヨリ、器量ノ人ヲエラミ出シテ、頼ンデヲツカクルナリ。早ヤ大
庾嶺麓ニテヲツ、メテ、ムンスト取ラエテ六祖ヲ(23オ)ヒ子リツブシテ、ケサヲ奪イ取ラントスル。此ノ勢イ、
面ヲ魂シイ見テ、二祖モケサヲ大」盤石ノ上ハニ抛ケ付ケテ、此ノ法衣ト云ハ、正法直傳スルト云ノ證拠デコソアレ。
此ノ道」里ガ無クンバ、信仰ハ無シ。別ニ袈裟ニ用処ワ無イ。欲シクンバ、你ニトラスルゾ。乍レ去、我慢シキ情ヲ起
シ、カラヲ以ツテ、此ノ袈裟ハ取ラレマジイ。一法流傳、宗旨」順熟、人デ無クンバ、タトイケサヲ持チ去ツタリトモ、

袈裟ハ用処ニハ立ン者ヲ、古ル茶」巾ニモヲトツタヲヨトヲセラル、ナリ。大悪僧ノ明上坐モ、此ノ至極ノ道リヲ聞キ受ケ」テ、ゲニモケサニ用処ヲ無ツケルヨト心得テ、カツクトナルナリ。故ヘニ^レ挙^レ之^ヲ。如^レ山ノ不^レ動ナリ」ト云テ、袈裟ガ山ナドノヲエ出デタ如ク、大盤石ノ如クニシテ、動カシテハ無イ。」正法^ニ奇特無シナ呈ニ、ナニガ^レ法ナドノ羊ニ、竒大不思議ナ^レハア郎ズ。六祖ノ、此ノ「衣ハ表^レ心トヲセラレタ。至極ノ道里ガ、何ントモ手ノ掛ラズ、大力量底ノ人モ提^レケ」起サン^レ。此ノ道リニツメラレテ、明上坐モカツクト非ヲ知ツテ、ケサニ目ヲバカケン^レ。呈ニ^ニ、^ニ脚蹠悚慄スト云ハ、タチモトヲリ、ヲソレヲノ、イテ云^レ。某甲ハ、全ク袈裟ノ為メニワ」参ラン、法ノ為メニ是^レ迄^ニデ参ジタ呈ニ、願クワ、行者、大慈大悲ニ^ノ、何ンゾ一句開」示シ玉ヘト、即今ヨリ我慢ヲ捨テ、非ヲ知ツテ歎ク^レ。処ヲ、不^レ思^レ一^ノ面目トハ、」此ノ明上坐ガ、大悪心ヲ^レ起シテ、善心ヲ起シテ、歎クニ依ツテ、不^レ思^レ善^ヲ」ト云ワ、善悪ヲ思量セン正當、自己本来ノ面目ヲ云テ見ヨトセメカケテ、接セラル(23ウ)、ナリ。処デ、明上坐モ、當下大悟トヨウ心得テ、前々ノ非ヲ知り、過ヲ改メテ、大ウ汗ヲ流、」撥露啼泣スル^レ。上來一^ノ否ト云ワ、従上來出興西來ヨリ北來、自己本来ノ面」ト云。此ノ密語密意ノ外ニ、亦別^ニ何^ノタル秘密ノ旨モゴザールカト、ナラモ心肝^ニ銘^ソ」ナゲク^レ。祖云、我一^ノ非密^ニ、此ノ密語密旨ト云ワ、三寸^ノ舌頭ヲ鳴ラシテ説向スル道リデハ無イ。サテ、問イタラバ、何ニガ密語密意デハア郎ズ。汝若一^ノ目」ト云ワ、ヨク吾ガ身上ヲカエリ見ルヲ云^レ。自己ニアル本来ノ面目ヲサイ返照シタ郎」ニハ、夫レガ即チ密旨デア郎ズ。別^ニ密語密旨ト云^レハ無イトヲセラル、ナリ。明上坐、」某甲モ久シク黄梅會裡ニ在ツテ、人ナミ^ノニ辛勞致シテハアレドモ、終イニ^レ踏^ミコ」ンデ、真実ニ自己ヲ明ムル修行ヲ致サン。サテ今マ行者、垂示指南ヲ以ツテ、人ノ水」ヲ飲ンデ、冷暖トモニ自知スルガ如ク、吾レトヨウ心得テ走。サリトテハ、大慈大悲」デ走ト、ドコ迄デモ前非ヲ悔エテ、得心スル^レ。代ハ、トツトヒキ上ケテノ着語ナリ。」虚空ト云ワ、ツ、ト向上虚ノ一位ノ^レヨ。其コデ点頭ト云ワ、虚位ニ沈^ン処ヲ云^レ。爰ヲ非思」量ノ時節ト云^レ。是レハ、向上ノ非思量ナリ。自己本来ノ面目ト云モ、如^レ此心得ベシ。泰叟」派テ、大叟ノ処ニ此ノ句ヲ用ル^レアル。其ノ時ハ、其ノ句ノ^レ湖底ヲト云テ、直談デスムベシ。」尊上坐注破云、不^レ思^レ善^ヲ不^レ思^レ惡^ヲ時、明上坐自己ノ面目、返照^ノ一句」作^レ魔生。代、^レ狸^ノ倒^ニ上^ニ菩提樹^ニ。心ワ、明上坐ガ、業識無明ノ面ヲ魂シイ惡」(24オ) 蕪ノ性靈ヲ不^レ改メ、其ノ^レ俛^テ、自己本来ノ面目ニ契ツタラバ、^レ狸^ノ倒^ニ上^ニ菩提樹^ニ」上リ上ツタト見ベキ^レ。菩提樹ニ飛ビ上ツタガ、元トノ^レ狸^ノ。此ノ句ヲ、アル門戸デ、不^レ轉」肉身、即位大覺ト云処ニ用ル^レ。其ノ時キハ、其ノ句ノ當的ヲ。代、師ノ前ニ^レ蕪^ニ直^クニ」ツ、ト走り掛ツテ、師ノ肩デモ頂キデモ、ヒヨツト飛ビ越ス

ナリ。心ワ、狸奴ノ俣デ、「菩提樹ニ飛ビ上ツタ足シ本」。菩提樹ニ飛ビ上ツタガ、元ノ狸奴、元識無明性」靈ヲバ改メ
ン。サテ、肉身ヲ不レ点ノ即チ大覺ノ位イニ到ツタコトデハ無イカ。此ノ義、人ニ不」雜誌者ノ。無門頌云、描不
成」就、贊」受、本」蔵、世」不」朽。心ワ、此ノ本来自己ノ面目ト云ワ、木像ニ描テモカタドラレン、畫像
ニ写シテ」毛筆力ガ及バン。亦異相徳用ノ間ダテモ無ケレバ、贊ズベキ羊」毛無ク、言句ニモノベラレン者ノ。故ヘニ
坐受頂戴」サタモ無キ。ト云ヘバ、何シモ無イヤウニ、未得謂證」ノ沙門ハ、心得ルゾ。何ニガサデハアルベキ、古
往今来トモ二目前ニイキ」トシテアル物、乃拳」團扇云、此ノ團扇ノ」ソロト云ヘバ、亦未學未得ノ漢ハ、七顛八
倒、拳手動」足ノ上ガ、自己ノ面目ヂヤト云イソロ。何」ガ走デハアルベキゾ。只タ吾レト分別シテ見デ」ハ。此ノ自己
面目ト云ワ、三際壞空ノ時節モ敗壞セン者。何ント羊」ナ物デ」ア郎。アノイブキ山ガ知ツタトモ申ス、岐府ノ山ガシ
ツタトモ申ス。兎角ソレモ證拠」ヲリ無イ。釈迦トヤラント云ヲ、能化達磨坊トヤラント云ウ物ノ知りモ、更ラニ知
ラント云ワ、」(24ウ)ト傳エ聞イデソロ。」

風穴通不犯。代、金鑣馬」嘶」芳草地、玉樓」人」醉」香花天。取句、銀椀裡盛」雪。」私云、風穴ノ延紹禪師者、南
院顛和尚之法嗣也。臨齊四世」孫。風穴ハ、処ノ名。在汝州。延紹禪師居」焉、因」処得名。其ノ穴ヨリ夏キ則ン
バ、風セ出テ、寒」キ則ンバ、風入」之故ヘニ、風穴ト云。マズ當則」色口」ニ説アリ。或イハ愁意愁」情ニ沈ンデ、
トツト思イ入り、朽チ入り、タエ入ツタ羊」ニサタシ、脱体泯」透リニ心得」ル」モアリ。亦齊下極則測底、末后ノ句、
當の向上ノ行季ナル間タ、口チニ任」セテ、江南」春ルノケシキヲ、ヒヨツト吐キ出シタト云説モアリ。兎角本則ハ物ヲ
云ワン」物」ナ呈、人ノ云イ付ケ次第。乍」去、ドレモ邪解。夜參ノ時キモ、當頭不犯」自」己ト云」ガアルト云ワ、
舌頭ガ回サレテコソ。呈」ニ、夫コワ不犯。其ノ不犯ノ當頭時節」ヲバ、何ント通達スベキゾ。此ノ僧ハ、風穴ニ息キ
テモツカセン羊」ニヲツ、メテ一問スル。処デ、風穴ハ思惟分別」不」渡、只タ口」ニ出タ俣」ニ、江南三月ノ風興」一
ト吐」デゴザール迄デヨ。爰ヲ當頭不犯」通処ト云イ、自己ノ活句トモ云。呈」ニ、巨海」老師ナドワ、香巖樹上ノ話
ト、當則」一ツ」ニ指示セラル。此ノ兩則ハ、物」心持ガ」城郭ナラバ、大手搦」メテノ心タトヲセラル。畢竟樹上
樹下、對不對」不」渡、語」(25オ)默離微、死活」兩頭」不」傾當頭ガ、西来ノ活意不犯ノ自己。月江和尚ワ、代」引キ
アゲテナサル。連錢葦」毛ナル馬」ニ、金覆輪」ヲ鞍」置キ、金鎌」ヲハメ村」□」縫タル直裰」ヲ着シ、左リ折ノ烏帽子前エ
八分」カブリ、金子」作り」ノ太刀」ヲ帶キ、金枯銅」ノ腰」ノ物」ヲ十文字」ニサシ、緑楊芳草」邊」ニ實」トヒカエテ居ラレタワ、

何ニサマ下郎トワ見エン。源氏デナラバ、九郎大夫ノ判官義（兼五）徑カ、平家ノ金達ナラバ、門脇ノ殿ノ末ノ子、無官ノ大夫篤盛ナドデア郎ズ。イカサ」マ玉樓臺上ノ客上家、天上人ニワ紛レン。此ノ人ガ、小原ヲ、シツ原、嵯峨、吉シ野ノ春ルノ花ニ、トツクト對ノ居タ処ヲ以ツテ、不犯ニ通スト云ヲバ、心得ベキニ。」畢竟不犯ノ通処ト云ヲ、即心即仏、不点肉身、即位大覺ナド、云修行ヲ」以ツテ心得サシ。取り句モ、其ノ心持チニ。提婆宗、心持ヲ以ツテ見ベシ。業「識無明ノ性靈ヲ不レ点、悪クラツソツラ魂イヲ不レ改、外道ノ俣デ、佛心宗ニ叶」ツタワ、不犯ニ通ゾヨ。其コワサエキツタル銀椀裡ニ潔白ナル雪ヲ盛ツタ如ク、「卒度モ交リ物ノ無ク、表裡ガ無キニ。夫コガ佛心宗ニ。尊上座注破」云、問答一句、道將來。代、如ニ越ヲツ狗ヲ逼テレ牆ニ。至ニ極則無路ノ処ニ。他、便乃チ活鑿ハツ々地。心ワ、狗ヲ牆ノスミエホツ、メテ置イテタ、クニ、急切ニタ、カ」レデワ、其ノ俣人ノ股ヲ走り出ルガ、肩ヲツ、ト飛ビ越シテ出ル者ノ。夫レヲ活鑿々ト云（25ウ）。其ノ如ク、此ノ僧ガ語黙離微ノ兩頭ニ不レ渡ゾ通セント、クツトホツ、メ、セメツメテ、足シヌキヲ」シ羊ズスキモ無ク一問スルニ。処ヲ、常憶一者シト、アラン方タヨリ、ヒヨツトヌケテ出ルニ。」卒度モカケ碍リ無キニ。点不得ノ処ニ於イテ、点身自由ヲ得タリ。扱テ語黙離「微ニ不レ涉、不犯ニ通ゾデハ無イカ、爰ガ當頭ノ活処ニ。無門頌云、不露」一「罔措」心得ハ、風骨ノ句ト云ワ、風流ノ骨髓ヲ吐キ出ノ。人ノヒツク」ト驚呈呈ノ句ヲ云ニ。サテ、舌頭デノベ、言句ニ露シタラバ、風骨ノ句デハ無キニ。紛レ」ン。江南ノ春ルヲ口ニ任セテ吟ズルガ、風骨ノ句ニ。此ノ風骨ノ句ハ、未露已前分「付シタリ。歩ミヲ進メテ互イニ、口喃喃地ニノノベタ郎ニワ、何ンデモ無イタワ」ヨ。夫レハ指タザル。君ト云ワ、諸方ニ掛ルニ。罔措ト云ワ、嫌道ニ。搗云、不レ渡言語作」塵生。乃打レ地下一云、俺阿嘯々繼繼ケイ婆詞。心ワ、理途ニ落チンニ。」

三座說法。代、不起一念、三世流入。」私云、仰山惠寂智通禪師者、韶州懷化人ニ。性ハ葉氏ニ。瀉山靈祐禪師」ノ法嗣ニ。通有ルヲ以ツテ、時キノ人ト小釈迦ト号スルニ。本則ハ一烈夢メ物ノ語」リニ。仰山ノ夢ニ弥勒樓閣ニ至ツテ、第三座ニ當テ說法スルト夢ニ見」ルニ。第三座トワ、首坐披位ヨリ三番目メノ披位ニ。主人ノ說法懈怠時、首」坐代官三說法スルニ。首座ノ說法懈怠時キ、維那說法スルニ。維那懈怠時（26才）キ、知客說法スルニ。仰山モ夢中ニ知客ナドノ位イニ當ツテ說法アル。摩訶ハ大ニ。衍」ハ乘ニ。摩訶衍、法ハ大乘ノ法ヲ云ニ。當則、眼ト云ワ、夢カトスレバ說法、々々カトス」レバ夢メニ。時キ、夢メデモ無ク、說法デモ無イ処ガ、大乘ノ活法ニ。活法ニ四句百」非ノサタハ無キニ。諦聽々々ワ、アキラカニキケ」ト云ギニ。爰ニモ理巴ハ付カン。月江」和尚ハ、離四句絶百非ト云ヲ、座

禪三昧ヲ以ツテ御ランアルナリ。不起一念^キ時^キ、三世トモ^ニ、流入スル^レ。夫コヲ覺海^ノ波瀾トモ云イ、大乘^ノ法トモ云^レ。畢竟坐禪ノ正當ヲ以テ^テ、心得ベシ。四句百非ハ、教意^ノ數ヘ^テ。先ヅ四句者、謂非無非有、亦無亦有、是^レレヲ四句ト云^レ。百非トハ、非有十六、非無十六、已起十六、未起十六、合セテ^ニ九十六種^ニ。此ノ九十六二、前ヘノ四句ヲ添ヘテ百非^ニ。是ラハ皆ナ小乘^ノ見解^ニ。尊上坐注破云、阿那个是摩訶衍ノ法、乃拍^テ手呵々大笑^ニ云々。江月^一所為ゾ。一機回轉^ノ時節ヲ笑ツタ、呵々大笑テハ無キ^ニ。爰ハ只^ニ自^ニ然^ニニカラ^レト笑ツタ迄^ニデヨ。時キ、江月照^ノ如ク^ニ。卒度モ是非^ノ曇リガ無ク、キ^レラリツトシタ^レヨ。サテ大乘^ノ活幾^ニハ無イカ。夫コヲ何^ノ所為ゾ^レ。分^レ別承當^ノノ出^シ。無門頌云、白日青天、夢中^ニ說夢^一衆^ノ。心ハ、開無門ハ、仰山^ニ當ツテノ頌^ニ。是レ呈^レノ日中^ニ、仰山^ハ大寢^リヲシテ、ナンデカ^ニアル郎。サマ^ノノ寢言^ヲラセラル、ヨ。嗟々、キヤツ、イカイイバケ者^ノヂヤト、殊^ノ外^ニ大衆^ヲ(26ウ)タブラカイテ勞煩^シタト云心^ニ。摺云、無門ノ意旨如何。代、抛却筆頭^ノ喝^ノ云、青天白日。心ワ、青天ト云イ、白日ト云ワ、單傳直指^ノ俛^テ、法クサイ^レノウノ毛呈^レモ無キ^ニ。得法^ガ曇^リ。二僧捲簾。代、虚空^ニ無^レ内外^一、心法^モ亦^タ如^シ是^レ。私云、法眼文益禪師ハ、餘杭人^ニ。俗姓ハ、魯氏^ニ。羅漢琛ノ法子也。羅漢琛ハ、玄^ニ沙^ノ法子^ニ。玄沙ハ、雪峰^ニ統^ク。法眼ハ、雪峰^四世^ノ孫^ニ。清涼ノ大法眼禪師ト、李公主旨^ノヨリ謚^リ号^シ。僧清涼寺故^ニ、清涼法眼ト云ヘリ。在石頭城臨揚子江^ニ。眼^レ法^ノ以^レ手、キツト簾ヲ指シタワ、兩僧^ノ働キヲ勘弁スル^レ。処デ、兩僧^ノ、ツ、トヨツテ、簾^ヲ卷キアゲタワ、内外打成一片^ニ、自己^ノ目前トモニ隔テ無イ旨ヲ露ス^レ。扱^テ、法眼會裡^ノ久參^ナラバ、簾ヲ不^レ卷、自己^ノ目前隔テ無イ旨ヲ呈露スベキ^ニ、簾ヲ卷イタワ、ムツカシイ^レ。呈^レニ、一得^一一失ト打テ落ス^レ。簾ヲ捲イテ、自己^ノ目前一致^ノ処ヲ呈露シタワ、余^リ惡イデハ無イ、走モ心得^テハ、呈^レニ得^レ。サテ簾ヲ卷ズシ^レテ、内外一枚、自己^ノ目前一致^ノ処^ヲバ心得^ン呈^レニ、其コワ一失^レ。サテ法眼門底^デハ、一得^一ト見ル時ンバ、ナベテ一得、亦一失ト見ル時ンバ、ナベテ一失^ダト云説ガ、一ト透リアル^レ。得^レモ夫レ、失モ夫レ^ト云句面モアリ。アレドモ、夫レハ十分不合^ニ義理^ナリ。兔角得^レハ嫌イ道子ト心得^ベシ。正道弁頌^ニ、古今得失^一前^トアリ。此ノ頌ガ證^ニ(27オ)抛^レ。得失是非^ノ問^ダヲ以ツテ論量シタラバ、其ノ俛^ノスラン青山暮雨^ノ景^ヲバ見損^一メ^レ。爰^ヲモ空ク看タ時ガ、青山暮雨^ノ景^ヲ呈^レニ、空ク看タガヨイナド、句面^{アリ}。夫レハ扶ケ句面ト云テ、法門商量^ナドノ時キ、不審^イシニ、嫌イ道子ヲ取り道子^ニ云^レモアル。取り道子ヲ嫌イ道子^ニシテ云^レモアリ。捨^テ、取^ルモアリ、取^ツテ捨^ルモアリ。取^ツテ捨^ルモアリ。兎角^ノ格商量^ノギリハ、実説^ニハナラン者^ノ。代^ハ、法眼^ノ

時ンバ、手ヲ」以ツテ目前ヲキツト指シタワ、簾ニ用処ワ無イ、簾ヲ卷ズシテ内外一致、処ヲ見セ」ラレタ。此ノ時三界唯心、万法唯識。唯心唯識ノ時キ、自己目前トモニタツタ一枚」ニノ、内外隔テ無キ。昔シヨリ今マニ至ル迄デ、関東デモ當則ヲ錯ツテサタシタ」長老達チ斗リダ。捨別法眼宗ト、趙州道体ガ心得難キ「タト、古老ヲセラ」ル、ナリ。法眼宗デ唯心ノ入り派ト、趙州ノ家デ平常ノ入り派ヲ、一ツニ心得タラバ、夫レ」ハ、ツ、トノヨイ僧デア郎ズトヲセラル、。尊上座注破云、法眼以レ手」指簾、正當一句作麼生。乃チ拳」起フ筆頭云、毛吞」巨海、芥」納」須弥。心ワ、」筆頭ニハ限ルマイ、扇子デモ團扇デモ、夫コニ有リ逢ウタ者ノヲ、一寸ト取ツテ拳」ゲ羊」迄デヨ。ケ令物ノヲ書ク次デ、持チ合セタ筆頭ナ呈ニ、一寸ト拳ゲタ迄デヨ。南」泉ハ山上デ茅ヲ茹ル次デナ呈ニ、鎌子ヲ一寸ト拳ゲ、鳥窠ハ鳥リノ窠ノ内チニ居」テ、別ニ道具ガナケレバ、木綿ダ。ヌノコノ綿ガミガ出デ、アルヲ、一寸ト取ツテ吹カレタ。亦法眼」(27ウ)ノ如クニ手デモ拳クルガ、拳シテモ一寸出ダ走迄デヨ。時キ道具ニ用処ハ無キ。時キニ望ソシテ只一寸出ノ迄デヨ。爰ヲ意路不到、正ニ提撕スルニ好シ。言詮不及、」宜」急」着」眼」ト云。一寸ト拳ゲタワ、意路不到、言詮不及。法眼ノ一寸ト拳シ、良」尊ガ一寸ハ筆頭ヲ拳ゲタ処ヲバ、毛吞巨海、芥ニ納須弥タ」見羊」ズ。眉毛デモ一筋」ジ一寸ト取ツテ出ス時ンバ、上ミ有頂天、下モ金輪際マデ、毛一筋ジデ柱」エタ。亦芥子粒デモ一粒一寸ト取ツテ抛ス時ンバ、都盧法界トモニ芥子粒一粒」デ柱エタ。時キ、別ニ交リ物ガアツテコソ、巨海ガ無ク須弥ガ無キ。有ル僧ガ古」老ニ問イ申ス羊」ワ、毛巨海ヲ吞ムト云ヲバ、何ント心得申走ス。アレバ、古老則チ眉」毛ヲ一寸ト一筋ジヒンヌイテ、僧ノ眼コノ上ヘニツンダシテ、是レ看ヨトヲセラル、ナリ。一寸トヒンヌイテ、ツンダシタ時キ、ドツコモ毛一筋ジデ居タ。別ニ交リ物ガアツテコソ。法眼」宗デ尽十方一類、明珠ト云イ、三界唯心、万法唯識ト云モ、此ノ心持チ。亦是レ」ニ似タ雑談ガアル。遠州懸川ノ乘安寺ニ越翁和尚御住」時キ、中庭」芥子」ヲバ、ハタカセテゴザアツタニ、削リ法薫ノ出デ、云ウル、羊」ワ、芥子ニ納」須弥」ト云ヲバ、」何ント心得申走ズト問ワル、ナリ。処ヲ、越翁和尚、芥子粒ヲ、一寸ト一粒取ツテ」ツダシナガラ、急ト撈眼シテ、サテモイカイ芥子ナトヲセラル、ナリ。処デ、法訓ノ心得ラ」ル、ナリ。芥子ツブデモ一寸トツンダシタ時ンバ、天ノ天外、地ノ地外迄デ、芥子一粒デ柱エタ。(28オ)別ニ交リ物」ガ出デシ」ト云ハ、一片ノ本位。法眼宗デ、唯心唯識ト云ヲバ、向ウ心得サシ。」サテ、簾ヲ卷ズシテ、内外一枚デハ無イカ。無門頌云、卷起」一」宗、争似」一」風。」心ワ、簾ヲサラリツト卷キ拳ゲタ処ワ、アノ虚空トタツタ一枚タ。処ヲモ、マダ吾ガ宗」本位ニワ叶」ンゾト削」落ス。空ヨリ放下」メト云ワ、虚空ト一枚ノ処ヲモ肝要ト持」ン。時、綿々

密々ニノ風ヲ通ベズキスギガ無キ)。ト云ハ、唯識唯心、一顆明珠、一指頭」デ、間ニ不入レ鬚ヲ処)。」「
 不是心不是佛不是物。代、酬陋任三君」嫌ニ、不レ帶ニ烟霞ノ色ヲ。私云、心・佛・物ハ、付ケ字。只夕不是くくマ
 デヨ。此ノ説一ト」透リ、関東ニアリ。アレ氏、十分ニ不レ聞句面。サテ、為人ノ説底ノ法ト云テ、フツ、ト云テ聞
 カセマジイト云羊ナ」デハ無キ。夫レハ、初心ヲ猿引キ長老、賣僧談義。南家」デ為人ノ説底ノ法ト云ワ、痴々
 兀々ノ道」一。卒度モ佛見法見ノ出デン処ヲ云。」マズ心ト云ハ、本心。佛ト云ワ、本佛物ト云ハ、万法」一。是
 レ心ニアラズ、是レ佛ニアラズ、是レ」物ニアラズト云ワ、心トモ佛トモ物トモ喚ビ起サン処ヲ云。爰ハ三更夜半ト
 モ云イ、空劫」已前トモ云。此ノ心得、一大隻ノ秘訣。呈ニ、公ギムキワ、彼ノ平生云ウ如ク、只夕不是くく迄
 デヨト云イ放ヲライテ、チツトモ手ヲ付ン隻タト斗リ云ツテ置クベシ。走ウ云ハ、」口チ器用デ、ア々面白イト云テ、
 人皆ナ」ル。代ハ、マズ醜陋ノ二字ハ、ミニクシ、ツタナシ」(29ウ)トヨム也。君ト云ワ、諸方エ掛ル。烟霞ノ
 色トハ、ケスラツタ底タ。諸方デ皆ナ人ガ醜イ陋イ」ト云テ、嫌ワバ嫌ウ迄デヨ。タトイ嫌ウトモ、烟霞ノ色ヲ帯ビ、
 ベニヲ白イヲ取ツテ付」ケ、ケワイケズラツテ、謝来ナリシ」ハ、フツ、トイヤト云ギ也。宗門デハ、第二義門ニ下ツ
 テ、」豎説横説シテ、人ノ為ニナルガ、ケスラツタ」ヨ。拈丈豎拂ガ、烟霞ノ色ヨ。扱テ、南」泉ハ、心ニアラズ、佛ニ
 アラズ、物ニ不レ有、第一頭ノ俣テ、終イニ二頭三四ニ下ラズ、紅」粉ヲヌラズ、烟霞ノ色ヲ帯ン人ト。生レナガラノ
 直面ノ俣デ、醜ク陋キ。」ト云ハ、痴兀ノ肌エヲ云也。呈ニ、爰デハ醜陋ヲ取り路ト心得ベシ。」尊上坐註破云、不是
 心不是佛不是物、処、作麼生拏着。」代、良久云、宮漏沈々ト夜色深シ、燈ニ殘火尽絶ニ知音。心ワ、キツト良久ノ処
 ワ、心ト」モ佛トモ物トモ喚ビ起サン。空劫已前、當体。着語ハ、内裡禁中、尋常ノケ高イ底」ヲ展ル。紛レン王老
 師ノ室内、玉殿若生ノ更深ケタ御座ノ底。トツト更深ケタニ依ツテ、」漏調水モ沈ミ切ツテ、音ト絶ヘ、灯ビモ幽カ
 ニシテ、照モ次第くニ薄ウナリ、定行ノ火モ」キエハテ、ヒエ切ツタ底。紛レン御邊近イ御座底ヂヤ。夫コハ供
 奉ノ公卿天上人」モ見エズ、百官僚等ノ臣下分上モマイリ通シ呈ニ、絶知音処。王老門底デハ、心物」佛ト喚ビ起サン
 処。其コヲ、洞上デハ、空劫已前ノ自己トモ云イ、兼中到ノ十位トモ云。」圖ニ取ル則ンバ、●是。黑白未分ノ処
 一。或イハカミサビテ、ケ高イゾ。懶イゾト云ワ、爰」(30オ)ノ一。玉殿若生ト云モ、此ノ御座。南泉門底デハ、
 是レヲ宗門中ノ異類、全黒ノ牛ト云。」亦昨夜トモ三更トモ云也。此、昨夜三更正當、莓苔深ク鎖シタル玉殿上ニ、佛
 祖ノ消息」ハ不レ及。古エヨリ兩輪光リ不レ到。況ヤ何ニカ佛見法見サタワアルベキ。佛祖迷」ウト云モ、爰ノ一。

夜明簾外主、不墮偏正方ト云モ、此ノ夏^ニ。サリナガラ、罷參ノ人ニ「アラズンバ、難心得^レ」。無門頌云、叮嚀^一功、任從^一通。」心ワ、マズ^一ノ句ハ、混頓王ノ夏ヲヨセテ作ル^ニ。心トモ佛トモ物トモ喚ビ起サン処ガ、混沌王^一ノ御代^ニ。本有ノ太平^ニ。サテ、テイ寧ニ七竅ヲ鑿開シ、心物佛ト喚ビ起スニ依ツテ、「混頓王ノ徳ヲ損ンザシ、王老師ノ天下ガ傾ク^ニ、ト云ワ、七竅ヲ鑿開セズ、心佛物ト喚^レビ起サン処ヲ見^ニ。混沌王モ耳目ヲ鑿リアゲズ、口ヲ不^レ開、無言ノ時キ、能^ク天下ヲ^レ保ツ^ニ。呈^ニ、真有功ト云^ニ。故ニ、開無門ハ、タトヘ大海ハ、カラリツト乾イテ、クワ原ト^レナリ、白ラ川原トナツテ、ホコリハ立ツトモ、フツ、ト為^レ君設向スマジイト云ギ^ニ。君ト云ハ、^レ參去參來ノ学者ヲ云^ニ。諸方ヘ掛ツタ語^ニ。拶云、無門頌意如何。代、但^タ能^ク不^レ觸^レ當吟^カ諱^ニ、也勝^レ前朝^ノ斷^シ舌^ツ才^一。才下デハ、此ノ句ノ意地ヲ。代、寧ツト云ウマイ^一ト云機デソロ。」(29ウ14行目)